



2024年度後学期
静岡大学市民開放授業

募集要項・授業内容（シラバス）



静岡大学
Shizuoka University

Contents

後学期スケジュール	2
1 市民開放授業の概要	3
市民開放授業とは	
実施形態	
2 受講までの流れ	5
Step1 「募集要項・授業内容（シラバス）」を手に入れる	
Step2 受講したい授業を決める	
Step3 興味のある授業を試聴し、受講科目を確定する	
Step4 必要書類を提出する	
Step5 受講料を納入する	
Step6 受講証の確認、学務情報システムの利用申請をする	
受付・お問い合わせ先	
3 受講に際して	7
情報ネットワーク（学務情報システム・無線LAN）	
大学からの連絡（休講・教室変更・補講）	
通学方法	
学生生活	
その他	
4 よくある質問Q&A	11
受講手続きについて	
受講料について	
授業について	
その他	
5 図書館の利用について	13
資料案内	
開館時間	
休館日	
利用にあたって	
サービス内容	
お問い合わせ先	
6 キャンパス案内図	16
静岡キャンパス	
浜松キャンパス	
7 市民開放授業科目一覧	18
表の見方	
シラバスの見方	
科目一覧	
シラバス一覧	
払込取扱票記入例	55
受講申込書	57
注意事項	58

2024年度 後学期 スケジュール

2024年										2025年														
10 月					11 月					12 月					1 月					2 月				
日	曜	行事			日	曜	行事			日	曜	行事			日	曜	行事			日	曜	行事		
		後学期・後学期前半		後学期後半			後学期・後学期前半		後学期後半			後学期・後学期前半		後学期後半			後学期・後学期前半		後学期後半			後学期・後学期前半		後学期後半
1	火	試験期間			火1	金	大学祭(静岡) 静岡休講 浜松金5			1	日	大学祭(静岡)			1	水	元旦			1	土			
2	水	試験期間			水1	土	大学祭(静岡)			2	月	大学祭(静岡)			2	木	試験期間 月11			2	日			
3	木	試験期間			木1	日	文化の日 大学祭(静岡)			3	火	文化の日 大学祭(静岡)			3	火	火2			3	月	(後学期試験)後学期終了 月15		
4	金	試験期間			金1	月	振替休日			4	水	振替休日			4	水	水3			4	土			
5	土				土1	火	火5			5	木	火5			5	木	木10			5	日			
6	日				日1	水	水6			6	金	水6			6	金	金9			6	月	月12		
7	月	試験期間			月1	木	木6			7	土	木6			7	土				7	火	火12		
8	火				火2	金	大学祭準備(浜松) 浜松休講 静岡金5			8	日	浜松休講 静岡金5			8	日				8	水	水13		
9	水				水2	土	テクノフェスタ・大学祭(浜松)			9	月	テクノフェスタ・大学祭(浜松)			9	月	月9			9	木	対面授業なし		
10	木				木2	日	テクノフェスタ・大学祭(浜松)			10	火	テクノフェスタ・大学祭(浜松)			10	火	火10			10	金	金12		
11	金				金2	月	月5			11	水	月5			11	土	水11			11	土	金12		
12	土				土1	火	火6			12	木	火6			12	木	木11			12	日	金13		
13	日				日1	水	後学期前半終了			13	金	水7			13	金	金10			13	月	成人の日		
14	月	スポーツの日			月1	木	後学期前半終了			14	土	木7			14	土				14	火	火13		
15	火	受験申込書提出期限 月曜授業			火2	金	金6			15	日	金6			15	日				15	水	水14		
16	水				水3	土				16	月				16	月	月10			16	木	木13		
17	木	受験料払込期限			木3	日				17	火				17	火	火11			17	金	金13		
18	金				金3	月	月6			18	水				18	水	水12			18	土	土13		
19	土				土3	火	後学期前半終了			19	木	火7			19	木	木12			19	日	日13		
20	日				日3	水	火8			20	金	試験期間 水1			20	金	金11			20	月	月6		
21	月				月3	木	木8			21	土	試験期間 木1			21	土	土11			21	火	火7		
22	火				火3	金	後学期前半終了			22	日	金7			22	日				22	水	補講(静岡・浜松)		
23	水				水4	土	勤労感謝の日			23	月	勤労感謝の日			23	月	月11			23	木	木14		
24	木				木4	日				24	火	受付期間			24	火	集中講義			24	金	金14		
25	金				金4	月	後学期前半終了			25	水	月7			25	水	集中講義			25	土	土14		
26	土				土4	火	火8			26	木	火8			26	木	集中講義			26	日	日14		
27	日				日4	水	水9			27	金	水9			27	金	集中講義			27	月	月14		
28	月				月4	木	木9			28	土	木9			28	土	集中講義			28	火	火15		
29	火				火4	金	金8			29	日	試験期間 金1			29	日	試験期間 金1			29	水	水15		
30	水				水5	土				30	月				30	月				30	木	木15		
31	木				木5	日				31	火				31	火				31	金	金15		

●学期別の授業回数

前学期	後学期	通年
15	15	15
15	15	15
15	15	15

市市民開放授業受講生は期末試験に参加できませんが、教員の許可があれば参加することができます。
試験期間の授業と、試験後に期末試験を実施する場合はオンデマンド授業を含めて15回の開講とします。
一部の科目は「後学期前半」に「後学期後半」に分かれており、8回の開講(オンデマンド授業を含む場合があります)とします。
「後学期後半」の試験期間及び受付期間は、別に設定していますので、注意してください。

☆ 学年暦

前 学 期 4 月 1 日～9 月 3 0 日
後 学 期 1 0 月 1 日～3 月 3 1 日

1 市民開放授業の概要

市民開放授業とは

■定義

静岡大学市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目の一部を一般市民の方に開放するもので、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、本学と地域社会の連携をより一層深めていくことを目的としたものです。

■特長

- ◇高等教育レベルの高度で体系的、先進的な内容を受講することができます。
- ◇大学の正規の授業科目を開放することから、大学での授業を理解するだけの学力を有していることを前提としています。ただし、高等学校などの卒業証明書の提出は必要ありません。
- ◇大学の正規の授業科目を受講していただきますが、**単位の認定は行いません**。したがって、単位認定試験は行いません。また、**修了証明書等の発行も行いません**。

実施形態

■開放科目

- ◇20ページの「市民開放授業科目一覧」をご覧ください。

注意

- ①市民開放授業科目一覧に掲載されていない科目は受講できません。
- ②夜間主コースの学生、大学院生を対象とした授業科目は開放しません。

■開講期間・授業回数

後学期開講期間	2024年10月1日（火）～2025年2月3日（月） ※後学期（後半）は、2024年11月20日（水）～2025年2月3日（月）
---------	---

- ◇授業の回数は試聴期間の授業も含めて半期15回です。開講学期に「前半」または「後半」と記載がある授業の回数は、試聴期間の授業を含めて半期8回です。
- ◇市民開放授業では単位認定をしませんので、単位認定試験などの時間は、授業回数に含まれません。
- ◇教員の都合により休講になる場合があります。
- ◇**授業実施日については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する日がありますので、必ず後学期スケジュール（P2）を確認してください。**

■時間割

◇授業時間は、次のとおりです。

時限	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
時間	8:40 } 10:10	10:20 } 11:50	12:45 } 14:15	14:25 } 15:55	16:05 } 17:35

■難易度

◇市民開放授業科目の難易度は、授業の内容に応じて、次の4段階に区分しています。ご自分の実力に適した授業をお選びください。

- (A) 入門的な内容で、高校卒業程度の学力を必要とします。〈大学1年次対象の授業に相当〉
- (B) より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となります。〈大学2～3年次対象の授業に相当〉
- (C) 高度な内容であり、当該専門分野について系統立った学習がなされていることを前提とするものです。〈大学3～4年次対象の授業に相当〉
- (D) 専門的な知識が必要なため、受講登録にあたり担当教員と面談を行います。〈大学3～4年次対象の授業に相当〉

■募集人員

◇1科目につき若干名とします。

◇正規の授業の一部を開放し、本学の学生と一緒に受講していただくため、本学の学生だけで講義室の収容人数を超える場合や、同じ科目に多数の応募があった場合には、受講できないことがあります。

■受講要件

◇本事業の趣旨を理解し、正規の学生と同等に取り組むことができる方であればどなたでも受講できます。学歴・資格は問いません。

■受講料

◇受講料は、市民開放授業科目一覧（P20）に記載されていますので、ご確認ください。

◇休講分の受講料は返金いたしません。

■テキスト

◇授業で使用する教科書等は、担当教員の指示に従って、受講生ご自身でご用意ください。教科書については生協書籍部で取り扱っていますので、市民開放授業の受講生である旨を伝え購入してください。

◇テキスト以外に講義資料をあらかじめ印刷しておくことが必要となる科目もあります（P7参照）。

※学務情報システムからダウンロードする資料は図書館のパソコンから印刷することができます（印刷代が必要です）。

2 受講までの流れ

Step1 「募集要項・授業内容（シラバス）」を手に入れる

◇「募集要項・授業内容（シラバス）」の入手方法は以下のとおりです。

- ①葉書・電話・メールでの請求…市民開放授業担当までご連絡いただければ、折り返し必要書類をお送りします（連絡先は次ページ参照）。
- ②来学での請求…市民開放授業担当までお越しください（場所はP16のキャンパス案内図参照）。
- ③インターネットからダウンロード…静岡大学市民開放授業のウェブサイト（https://www.lc.shizuoka.ac.jp/class_list.html）より、必要書類をダウンロードしてください。

Step2 受講したい授業を決める

◇募集要項とシラバスをよく読んで、受講したい授業を決めてください。

Step3 興味のある授業を試聴し、受講科目を確定する

◇試聴とは、受講生が受講科目を決定する際に、授業の概要を確認していただくために設定しているものです。開講期間中の初回に限り、開放科目の授業は自由に試聴できます。事前申込は不要、途中入退室も可能です。試聴期間内に受講科目を確定し、受講申込書に科目番号・受講科目名・担当教員氏名を記入の上、教員から承認印を貰ってください（受講手続きについては、P11のよくある質問Q&A参照）。

※正規の授業の1回目を、市民開放授業受講生向けの試聴期間に設定しています。

試聴期間 2024年10月1日（火）～10月7日（月）
※後学期（後半）は、2024年11月20日（水）～12月2日（月）

◇承認印がないと受講できません。受講料を振り込む前に必ず印またはサインを貰ってください。

Step4 必要書類を提出する [提出期限 10月15日（火）]

◇下記書類を市民開放授業担当（静岡キャンパス）へ郵送または直接提出してください（提出先、受付時間等は次ページ参照）。

- ①受講申込書（P57、担当教員の承認印が押印済みのもの）
※6科目以上受講する場合は、受講申込書をコピーし記入してください。
- ②運転免許証、保険証等の氏名及び現住所を確認できる書類の写し
※受講申込書裏面（P58）にあらかじめ貼付のこと。

受講申込期間 2024年10月1日（火）～10月15日（火）※締切日必着
※後学期（後半）は、2024年11月20日（水）～12月9日（月）

◇浜松キャンパスには受付窓口がありませんのでご注意ください。

Step5 受講料を納入する [払込期限 10月17日 (木)]

◇郵便局で、「払込取扱票」により受講料を振り込んでください。払込取扱票は、この募集要項の末尾にあります（記入例はP55）。

受講料払込期間 2024年10月1日（火）～10月17日（木）※払込期限厳守
※後学期（後半）は、2024年11月20日（水）～12月11日（水）

◇現金での納入はできません。現金を直接お持ちいただいたり、書留等で送付いただいても納入手続きはできませんのでご注意ください。

◇授業で使用するテキスト代や授業に必要な資料印刷費、その他の費用は受講生の負担となり、受講料とは別となります。

◇休講等により担当教員の承認印が遅れる場合など、特別な事情で期限までに納入できない場合は、必ず市民開放授業担当までその旨をご連絡ください。

Step6 受講証の確認、学務情報システムの利用申請をする

◇入金確認後、受講証が郵送されますので、手元に届き次第、確認してください。

◇受講証は、来学の際には必ず携帯してください。

◇申し込みされてから受講証が手元に届くまでの間は、担当教員に「受講証は発行手続き中である」旨を伝えて、受講してください。

◇受講する科目によっては学務情報システムを利用します（詳細は次ページ参照）。必要に応じて利用申請を行ってください。

受付・お問い合わせ先

■問い合わせ

地域創造教育センター市民開放授業担当（静岡キャンパス事務局別館2階）
☎054-238-4817 [平日9:30～12:30、13:30～16:00
(10/1～10/15のみ 9:30～12:30、13:30～16:30)]
e-mail : kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp
(住所) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

■浜松キャンパスでの授業（休講・補講・教室・授業内容）に関する問い合わせ

[授業実施期間中のみ]
浜松教務課共通教育係（S-Port 1階） ☎053-478-1006

※お問い合わせの前に、必ずP11～12の「よくある質問Q&A」をお読みください。

3 受講に際して

情報ネットワーク（学務情報システム・オンライン授業・無線LAN）

■学務情報システム(講義資料ダウンロード、課題提出等)

- ◇学務情報システムとは本学の学生がインターネット上で履修登録や成績参照をするためのもので、授業資料の配布や課題提出、アンケートなどもこのシステムを使って行います。授業によっては、担当教員から学務情報システムを利用して、授業の資料などを事前にダウンロードするよう指示される場合もあります。
[URL] <https://gakujo.shizuoka.ac.jp/portal/>

- ◇学務情報システムの利用にはIDおよびパスワードが必要となり、受講申込とは別にID発行の申請が必要です。申請は、静岡キャンパスでは市民開放授業担当（事務局別館2階）、浜松キャンパスでは浜松教務課共通教育係（S-port1階）で受け付けます。

※IDは、静大IDとMicrosoft365 IDの2種類が発行されますが、システムログインにはMicrosoft365 IDを使用します。

※IDの発行まで一週間程度かかります。手続き中に限り、資料の印刷については前述の窓口で対応します。

※パソコンをお持ちでない方には、附属図書館に受講生も利用できるパソコンがあります（台数限定）。利用については附属図書館のカウンターにお申し込みください。ダウンロードした資料を印刷することもできます（有料）。

■オンライン授業の受講について

- ◇一部の科目で、オンライン授業（動画配信型、オンラインによる課題提出型授業等）を行います。動画配信型授業には附属図書館設置のパソコンは使用できませんので、ご自身でインターネットに接続できるパソコン、タブレット、スマートフォン等をご用意ください。

※動画配信は、Google Classroom、地域創造教育センターによる配信等により実施します。動画配信の有無については、科目一覧（P20）をご覧ください。

※オンライン授業の受講にかかる通信料は自己負担となります。受講にはWi-Fiなどの十分な通信環境を整えてください。

※端末機器の使用や操作方法、インターネット通信機器の接続や使用等に関するサポートはできませんのでご了承ください。

- ◇Google Classroomによるオンライン授業に参加するには、webブラウザからGoogle Classroomにアクセスするか、Google Classroomアプリケーションをダウンロードしたうえで、静大非正規学生用の専用アカウントでログインする必要があります。対象科目を受講する方には、受講申込受付後に専用アカウントを発行し、通知します（個別に申請していただく必要はありません）。

※Google Classroomの使用マニュアルを静岡大学市民開放授業ウェブサイト（https://www.lc.shizuoka.ac.jp/class_list.html）に掲載しておりますのでご参考ください。

- ◇地域創造教育センターが配信するオンライン授業を受講する方には、受講申込受付後に配信日時、視聴期間などの詳細を通知します。

※通知はメールで配信しますので、必ず受講申込書にメールアドレスを記入してください。

■キャンパス内での無線LAN接続について

- ◇市民開放授業受講生は静大eduroam（エデュローム）ゲスト用アカウントによる接続設定をすることで、キャンパス内で無線LANをご利用いただけます。無線LANの利用を希望する場合は受講申込書の該当箇所に○をつけて提出してください。受講申込受付後に、接続に必要なゲスト用アカウントとパスワードを

発行し、通知書を送付します。

※静大eduroamゲスト用アカウントは半期で失効します（前学期に申請した場合の有効期限は9月30日まで、後学期の場合は3月31日までとなります）。

※ご利用の端末の無線性能や無線アクセスポイントまでの距離等により電波強度の強弱が生じ、通信速度に影響が生じますのでご了承ください。

大学からの連絡（休講・教室変更・補講）

■掲示板

◇休講情報は、静岡キャンパスでは共通教育B棟ピロティ電子掲示板、浜松キャンパスでは教養教育掲示板にある市民開放授業用の掲示板に掲示します（P16～17参照）。

※静岡キャンパス共通教育L棟掲示板には休講情報は掲示されませんのでご注意ください。

※急な休講がある場合、掲示板での対応が間に合わない場合がありますのでご了承ください。

◇休講情報は、携帯電話やパソコンからオンラインで確認することができます。

休講情報URL <https://gakujo.shizuoka.ac.jp/portal/class-cancel>

◇教室変更、補講の情報は、静岡キャンパスは共通教育L棟掲示板、浜松キャンパスは教養教育掲示板に掲示します（P16～17参照）。

◇現時点で教室が未定の授業は、教室決定後に掲示します。また、授業開始後も教室を変更することがありますので、必ず掲示板を確認するようにしてください。

■メール

◇大学からの連絡はメールで配信します。必ず受講申込書にメールアドレスを記入してください。過去にメールアドレスを記入していただいた方も、改めて記入してください。また、記入するメールアドレスは1つにしてください。

◇掲示板に掲示する内容の他、授業に関する連絡をメールで配信します（オンライン授業の案内、授業内容の補足、資料の準備の連絡等）。

◇携帯メールを記入される方は、大学からのメールが受信できるように設定をしてください（発信アドレス：gakujo@adb.shizuoka.ac.jp、kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp）。

◇メールアドレスの登録に時間がかかりますので、受講申込後、約1週間はメール配信ができません。

◇電話による休講等の連絡は行っていません。

◇全ての休講連絡がメールで配信されるとは限りません。

■その他

◇自宅を出る前に天候不良等で授業が開講されるかどうか心配な場合は、教務課教務係（☎054-238-4327）へお問い合わせください。

通学方法

■自動車での通学

◇自動車での通学は、原則としてできません。本学教職員の駐車スペースも確保が難しい状況であり学内に十分な駐車スペースがないこと、学内の交通安全と教育・研究環境を確保する必要があることなどから、公共交通機関をご利用ください。これに違反したトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承ください。

◇ただし、身体に障害があるなど特別な理由がある場合のみ、駐車許可証を発行します。駐車許可証の申請には、医師の診断書又は身体障害者手帳の提示が必要です。

◇近隣の駐車場の紹介・斡旋は行っていません。

■自転車・バイクでの通学

◇自転車・バイクでの通学は可能です。ただし、構内への乗り入れは禁止されていますので、必ず指定の駐輪場に置いてください。浜松キャンパスへ自転車、バイクで通学される方は、予め浜松学生支援課学生支援係窓口までご連絡ください（S-Port1階）。

◇ただし、身体に障害があるなど特別な理由で学内の移動が困難な場合には、駐車許可証（バイクのみ。自転車は不要）を発行していますので、市民開放授業担当までご相談ください。

■学割の利用

◇通学定期券、通学用割引回数券、学生専用バスカードの購入など学割の利用はできません。購入の際に必要な「学校学生生徒旅客運賃割引証」、「通学証明書」または「在学証明書」等の発行ができないためです。

学生生活

■図書館の利用

◇受講生は、受講証とは別に発行される図書館利用票を提示して、図書館を利用することができます。図書館利用票の発行には、受講申込から数日かかります（個別に申請していただく必要はありません）。利用方法は「図書館の利用について」（P13～15）を参照してください。

◇開館日・時間等は、図書館のホームページ（<https://www.lib.shizuoka.ac.jp/>）でもご案内しています。

静岡キャンパス：静岡大学附属図書館静岡本館 ☎054-238-4479

浜松キャンパス：静岡大学附属図書館浜松分館 ☎053-478-1391

■生協の利用

◇受講生は、生協（大学内の店舗、食堂）を利用することができます。書籍・テキスト、CDなど、一部商品に組合員の割引価格が設定されていますが、組合員価格での購入には組合員証の提示が必要となり、組合員証の交付には出資金等の手続きが必要です。組合員でない方には、定価販売となります。詳しくは、下記の「静岡大学生生活協同組合」まで直接お問い合わせください。

◇フードショップ銀杏2階の休憩スペースも利用できます。

静岡大学生生活協同組合静岡キャンパス ☎054-237-2712

静岡大学生生活協同組合浜松キャンパス ☎053-473-4627

■一時保育施設の利用（静岡キャンパスのみ）

◇受講生は、本学構内にある多目的保育施設「たけのこ」を有料で利用することができます。生後8週間を経過した乳児から小学6年生までの児童の保育が可能です。授乳や搾乳ができ、シャワー・トイレ・湯沸し室があります。

◇ご利用の際は、原則として利用希望日の平日3日前の16時までにフォーム（<https://forms.office.com/r/86QEJstY7U>）からお申し込みください。その他、詳細については、次ページの「静岡大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン推進室」まで直接お問い合わせください。

静岡大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン推進室（事務局棟3階）

☎054-238-3068 FAX：054-238-3160

e-mail：takenoko@adb.shizuoka.ac.jp

<https://www.sankaku.shizuoka.ac.jp/wordpress/wp-content/uploads/takenokoleaf.2024.pdf>

その他

■受講生の義務・注意

◇受講生は授業を受講するにあたって、授業担当教員及び本学関係者の指示に従うとともに、私語を交わしたり、騒音を発したり、その他授業を妨害するような行為をしてはいけません。

◇授業中は携帯電話の電源をお切りください。

◇授業中、録音・撮影をしてはいけません。

■受講の停止

◇受講生が、本学の秩序を乱したり受講生としてふさわしくない行為があった場合は、受講停止とすることがあります。

■損害賠償

◇受講生が故意または不注意により本学の施設、設備等を破損したときは、速やかに届け出るとともに、自己の責任においてこれを原状に回復し、またはその損害を賠償しなければなりません。

■連絡先の変更

◇連絡先に変更があった場合は、市民開放授業担当までご連絡をお願いします。

■受講生の呼び出し

◇ご家族等からの依頼による受講生の呼び出しには対応できませんので、あらかじめご了承ください。

4 よくある質問 Q&A

受講手続きについて

Q1 受講資格は定められていますか？高等学校の卒業証明書などの提出は必要ですか？

(A) 大学の正規の授業科目を開放することから、大学での授業を理解するだけの学力を有していることを前提としていますが、特に受講資格は定めていません。また卒業証明書などの提出も必要ありません。本事業の趣旨をご理解いただき、正規の学生と同等に取り組むことができる方が受講してください。

Q2 希望する授業についていけるか心配です。具体的な難易度を教えてください。

(A) 難易度については、科目一覧（P20）に記載してありますのでそちらを参考にしてください。また試験期間中、開放する授業科目は自由に試験することができますので、期間内に各自でご判断ください。

Q3 受入可能人数が若干名となっていますが何名ですか？申込多数の場合の選考方法を教えてください。

(A) 受入人数や希望者多数の場合の選考方法については、担当教員に一任しておりますので、各授業によって異なります。希望する授業の担当教員に直接おたずねください。

Q4 試験するには事前の申し込みが必要ですか？

(A) 事前申込は不要です。開放する授業の科目は、自由に試験できます。また、試験期間中に限り、途中の入退室も可能です。

Q5 どうしても初回の授業に出席できません。承認印は貰えませんか？

(A) 試験期間内に受講した人が優先となりますが、授業によっては定員に達していない場合、承認されることもありますので、担当教員に直接事情を話して相談してください（2回目の授業の時、またはシラバスに記入されているオフィスアワーを利用）。

Q6 初回の授業が休講でしたがどうしたらいいですか？書類の送付が申込期間内に間に合わないと受講できませんか？受講料は先に振り込んだ方がいいですか？

(A) 初回の授業が休講の場合、次回の授業が1回目の授業になりますので、その時に承認印を貰ってください。その場合には手続きが遅れても構いません。受講料は、必ず承認印を貰ってからお振り込みください。ただし、書類の送付及び受講料の振り込みが遅れる場合は、必ず市民開放授業担当までその旨をご連絡ください（連絡先は下記参照）。

Q7 申込受付は郵送のみですか？

(A) 直接大学にお持ちいただいても結構です。受付場所は下記の通りです。なお、浜松キャンパスには受付窓口がありませんので、ご注意ください。「募集要項・授業内容（シラバス）」も下記の場所で配布しています。

静岡大学地域創造教育センター市民開放授業担当（静岡キャンパス事務局別館2階）
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
☎054-238-4817 [平日9:30～12:30、13:30～16:00]
(10/1～10/15のみ 9:30～12:30、13:30～16:30)

受講料について

Q8 受講料にテキスト代は含まれますか。

- (A) 含まれません。授業に必要な図書・テキスト・資料のコピー代等は受講生の負担となります。
指定された教科書は、生協書籍部で販売していますので、各自で購入してください（P9参照）。
また、学務情報システムからダウンロードする資料は各自で印刷してください（P7参照）。

Q9 銀行振込や現金書留での支払いは可能ですか？直接現金を大学に持参してもいいですか？

- (A) お支払い方法は郵便振込のみです。大学に現金をお持ちいただいても納入手続きはできません。

Q10 振込受領証やそのコピーは送付しなくていいのですか？

- (A) 受講料の振り込みは大学側で確認できますので、受領証やそのコピーの送付は不要です。受領証は、控えとして各自で保管してください。

授業について

Q11 レポートや課題の提出、単位認定試験は受けなければいけませんか？受けてはいけませんか？

- (A) 市民開放授業は単位の認定を行いませんので、原則としてレポートの提出やテスト、単位認定試験受験の必要はありません。ただ、これは提出、受験してはいけないということではありませんので、担当教員と相談、了承の上でしたら問題ありません。ただし、その場合も単位の取得はできません。

Q12 シラバス（授業計画）の内容と、実際の授業内容や進度が違うのはどうしてですか？休講になった回はすべて補講が行われますか？

- (A) シラバス（授業計画）は授業の目標や内容、スケジュール等の授業計画をまとめたものですので、各担当教員の判断により、実際の授業とは内容や進度がシラバスと異なる場合があります。また、授業の回数は試聴期間の授業を含めて半期15回となっていますが、休講があった場合は、補講等による代替措置が各授業担当教員の判断により講じられます。

Q13 授業を休む場合は連絡が必要ですか？

- (A) 特に必要ありません。

Q14 台風等の場合は休講になりますか？

- (A) 大型の台風等の場合、大学全体で休講になることがあります。大学のホームページに掲載されることもあります。天候不良で開講されるか心配な場合は、教務課教務係（☎054-238-4327）へお問い合わせください。

その他

Q15 授業終了後、受講証は返却しなければいけませんか？

- (A) 返却の必要はありません。

5 図書館の利用について

静岡大学附属図書館は、静岡キャンパスの静岡本館、浜松キャンパスの浜松分館から構成され、そこには数多くの学習書や専門書、学術雑誌が所蔵されています。受講する科目についてさらに学習するため、あるいは生涯学習のため、この機会にぜひ図書館をご利用ください。図書館のホームページ (<https://www.lib.shizuoka.ac.jp/>) でもサービス内容をご覧ください。

開館時間やサービス内容は変更になる可能性があります。最新情報は、図書館ホームページでご確認ください。

資料案内

- ◇静岡大学附属図書館では、静岡本館に88万冊の図書と15,600タイトルの雑誌、浜松分館に31万冊の図書と4,500タイトルの雑誌を所蔵しています。その他にも、視聴覚資料、特別コレクション、マイクロ資料等があります。
- ◇これらの資料は図書館の閲覧室、書庫内にありますが、研究室に備え付けられているものもあります。

開館時間

※詳細は、図書館ホームページの開館カレンダーでご確認ください。

- ◇平日…9:00～20:00（試験対応期間は9:00～21:00、夏休み等の休業期間中は9:00～17:00）
- ◇土曜…10:00～17:00（試験対応期間は9:00～21:00）
- ※試験対応期間については日曜・祝日も9:00～21:00で開館します

休館日

- ◇日曜・祝日（試験対応期間を除く）、年末年始、3月の土曜、大学入学試験日、蔵書点検期間、その他臨時休館日（館内掲示、図書館ホームページなどでお知らせします）

利用にあたって

■図書館利用票

- ◇必ず図書館利用票をご持参ください。入館・退館時に必要です。また、図書の貸出、ネットワーク使用の手続きの際にも必要です。
- ◇図書館利用票は、静岡本館、浜松分館の両方で使うことができます。

■図書館利用票の受取方法

- ◇図書館利用票は市民開放授業受講申込後に図書館で発行します。受講する授業が開講されるキャンパスの図書館カウンターで、受講証等（※）を提示し受け取ってください。なお、図書館利用票の発行は、受講申込から数日かかりますので、ご了承ください。

（※）受講証、身分証明書（氏名及び現住所が確認できる書類）、受講申込書の写しのいずれか。

- ◇静岡・浜松の両キャンパスで授業を受講される方は、原則として静岡本館で発行します。浜松分館で受け取りたい方は、事前に静岡本館までご連絡ください（☎054-238-4479）。

サービス内容

◇平日17:00以降および休日の開館時は、窓口のサービス内容が縮小されますのでご注意ください。

事項	静岡キャンパス（静岡本館）	浜松キャンパス（浜松分館）
閲覧	館内3～5階の閲覧室にある図書・雑誌は自由に利用できます。利用後は元の位置に戻してください。	1～3階の開架図書・開架雑誌は自由に利用できます。利用後は元の位置に戻してください。
	書庫内資料を利用する場合は、学内所蔵検索（OPAC）で確認のうえ、「資料請求票」に記入し、サービスカウンターに申し込んでください。書庫内資料の出納時間は平日9:00～16:45です。土日祝日に来館して書庫内資料を利用されたい場合は、平日9:00～17:00に問い合わせ先へ連絡をお願いします。	書庫内資料を利用する場合は、学内所蔵検索（OPAC）で確認のうえ、「資料請求票」に記入し、カウンターに申し込んでください。書庫内資料の出納時間は平日9:00～12:30、13:30～17:00です。平日の夜間、土日祝日に来館して書庫内資料を利用されたい場合は、平日9:00～17:00に問い合わせ先へ連絡をお願いします。
	研究室備付となっている資料（OPACで所在が「本館」「分館」以外のもの）は利用できません。	
	図書館内配架資料であっても一部ご利用できないものがあります。	
貸出	4階・5階の開架図書および書庫内図書が対象となります。	1階・2階の開架図書、書庫内図書が対象となります。
	貸出を希望する図書と図書館利用票を持参してサービスカウンターで手続きをしてください。	貸出を希望する図書と図書館利用票を持参してカウンターで手続きをしてください。
	浜松分館所蔵の図書を取り寄せることができます。取り寄せのできる図書は、浜松分館の開架図書および書庫内図書です。サービスカウンターに申し込んでください。	静岡本館所蔵の図書を取り寄せることができます。取り寄せのできる図書は、静岡本館の開架図書および書庫内図書です。カウンターに申し込んでください。
	貸出期間の延長（手続日よりさらに2週間貸出可能）は予約がない場合に限り、1度だけ可能です。サービスカウンターに申し込んでください。	貸出期間の延長（手続日よりさらに2週間貸出可能）は予約がない場合に限り、1度だけ可能です。カウンターに申し込んでください。
	参考図書（辞書・事典・統計類等）や雑誌の貸出はできません。	
	貸出冊数は3冊まで、貸出期間は2週間です。	
返却	サービスカウンターに返却してください。	カウンターに返却してください。
	図書館閉館時は、正面玄関右脇の返却ポストに入れてください。	図書館閉館時は、正面玄関横のブックポストに入れてください。
	返却期限日を過ぎると、遅れた日数分だけ貸出が停止されますのでご注意ください。	

事項	静岡キャンパス（静岡本館）	浜松キャンパス（浜松分館）
館内コピー機の利用	コピー機は4階閲覧室に設置しています。	コピー機は1階閲覧室に設置しています。
	料金は、白黒は1枚10円、カラーは1枚50円です（図書館では両替をしませんので、小銭をご用意ください）。	
	複写する時は、著作権法の定めに基づき以下のことに注意してください。 ①図書館所蔵資料のみが対象です（自分のノート、レポート等は不可）。 ②「複写申込書」に記入してから複写してください。 ③1人1部、資料の一部分を複写できます。雑誌の最新号は複写できません。	
レファレンスサービス	レファレンスカウンターでは、図書館の利用、資料の探し方などについての質問にお答えしています。	カウンターでは、図書館の利用、資料の探し方などについての質問にお答えしています。
	対応時間は、平日9:00～12:30、13:30～17:00（休日は対応なし）です。	
	本学図書館を通じて、県内公共図書館からの図書の取り寄せができます。他大学からの取り寄せはできません。	
利用者用パソコン	ネットワーク利用のためのノートパソコンの貸出を行っています。利用の際はサービスカウンターに申し込んでください。	1階カウンターに利用者用パソコンが設置してあります。学術情報検索にのみ利用できます。
		ネットワーク利用の際は、平日9:00～17:00にカウンターに申し出てください（学内所蔵資料の検索については、各フロアに検索専用のパソコンがあります）。
注意事項	携帯電話での通話、私語はご遠慮ください。貴重品は常に携帯してください。他の利用者の迷惑になるような行為は慎んでください。閲覧室では水筒もしくはペットボトル（いずれも中身は水またはお茶のみ）の使用ができます。	
	図書を亡失または汚損した場合は、弁償していただくことがあります。	

お問い合わせ先

■静岡キャンパス

◇静岡大学附属図書館静岡本館 利用サービス係

☎054-238-4479 e-mail: lib-infsrv@adb.shizuoka.ac.jp

■浜松キャンパス

◇静岡大学附属図書館浜松分館 分館サービス係

☎053-478-1391 e-mail: libh-ill@adb.shizuoka.ac.jp

バス停 (静大片山)

バス停 (片山)

東名高速道路

駐輪場

静岡大学生協 (第1食堂・書籍・購買)

フードショップ (銀杏)

人文

学務部

共通教育棟

共通教育B棟ピロティ
電子掲示板
休講情報

駐輪場

バス停 (静岡大学)

別館

事務局

駐輪場

守衛所

正門

多目的保育施設「たけのこ」

講義室

農学部

農学総合棟

共通教育L棟掲示板
市民開放授業用

保健センター

大学会館

教育実践総合センター

図書館

第2食堂

総合研究棟

理学部

温室

工作センター

放射科学教育推進センター

グローバル共創科学部

遺伝子実験棟

地域創造学環棟

人文社会科学部

大講義室

サッカー場

ラグビー場

体育館

テニスコート

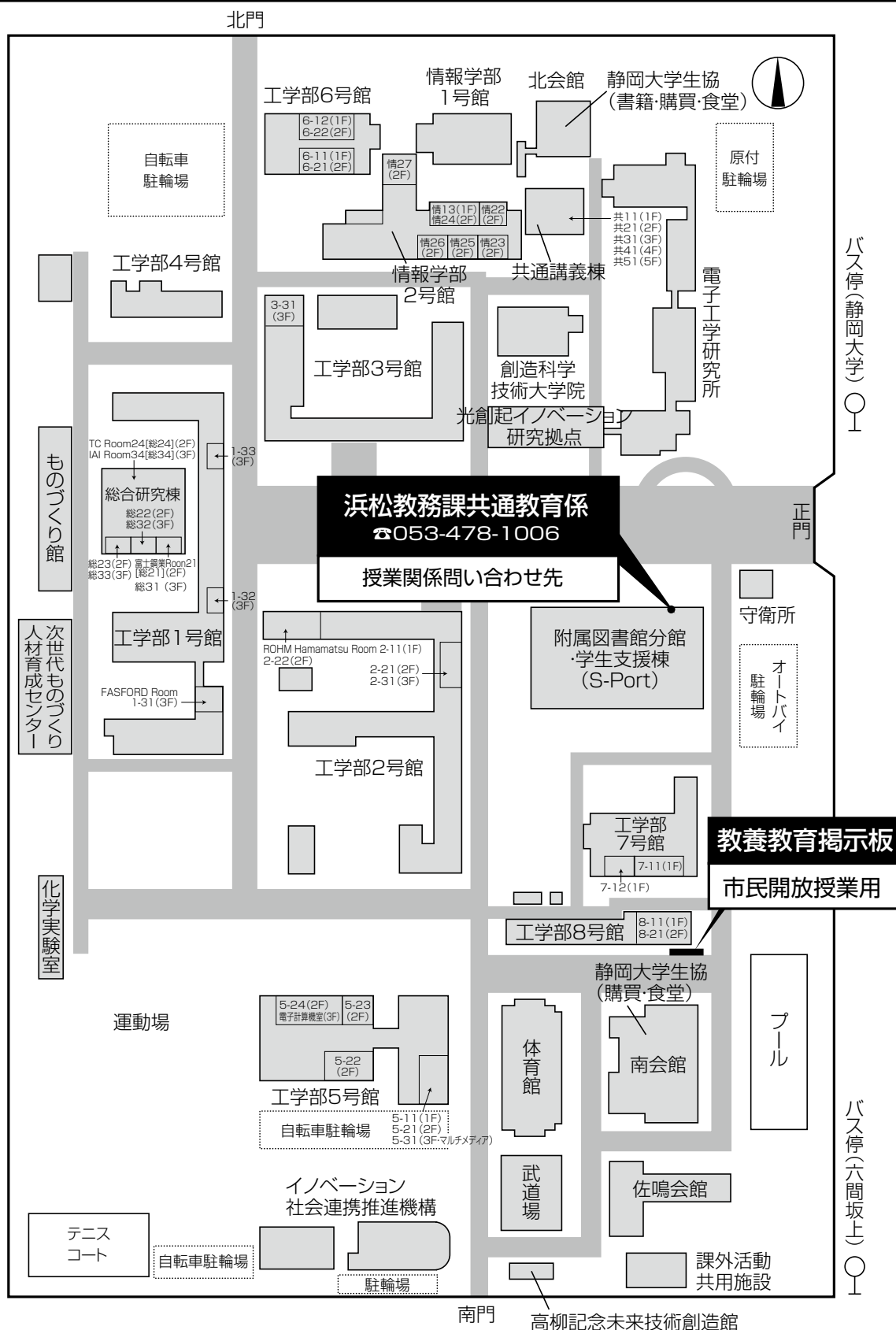
フルール

舞踏場

テニスコート

地域創造教育センター
市民開放授業担当
☎054-238-4817
[平日9:30~12:30、13:30~16:00
(10/1~15のみ9:30~12:30、
13:30~16:30)]
受講申し込み・募集要項請求先

浜松キャンパス



7 市民開放授業科目一覧

表の見方

■No.

◇科目番号です。市民開放授業で開放されている科目に割り振られた番号で、シラバスの下端にある番号と一致しています。受講申込書や払込取扱票にはこの番号を記入します。

■学部等

◇授業を実施している学部等を指します。

■時間割

◇授業時間は、次のとおりです。

時限	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
時間	8:40 } 10:10	10:20 } 11:50	12:45 } 14:15	14:25 } 15:55	16:05 } 17:35

■教室名

◇静岡キャンパス

- ・共＝共通教育棟、人＝人文社会科学部棟、理＝理学部棟、農＝農学部棟の略です。
- ・アルファベットは、それぞれの棟を表します。たとえば、「共A201」は、共通教育A棟201教室のことを指します。

◇浜松キャンパス

- ・情＝情報学部棟、総＝総合研究棟、工1～8＝工学部1～8号館の略です。
- ※授業開始当初は、受講学生数等により教室を変更する場合がありますので、掲示に注意してください。

■受入可能人数

- ◇1科目につき若干名とします。
- ◇受講の可否については、教員の判断に委ねられますので、担当教員に確認してください（P11のよくある質問Q&A参照）。
- ◇正規の授業の一部を開放し、本学の学生と一緒に受講していただくため、本学の学生だけで講義室の収容人数を超える場合や、同じ科目に多数の応募があった場合には、受講できないことがあります。

■難易度

◇市民開放授業科目の難易度は、授業の内容に応じて、次の4段階に区分しています。ご自分の実力に適した授業をお選びください。

- (A) 入門的な内容で、高校卒業程度の学力を必要とします。〈大学1年次対象の授業に相当〉
- (B) より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となります。〈大学2～3年次対象の授業に相当〉
- (C) 高度な内容であり、当該専門分野について系統立った学習がなされていることを前提とするものです。〈大学3～4年次対象の授業に相当〉
- (D) 専門的な知識が必要なため、受講登録にあたり担当教員と面談を行います。〈大学3～4年次対象の授業に相当〉

シラバスの見方

■授業の目標、学習内容、授業計画

◇これらを参考に受講したい科目を探してください。

■受講要件

◇要件を満たしているかご確認ください。

■オフィスアワー

◇教員が学生の質問や相談を受けるために、特定の場所で待機する時間のことです。会議等、特別な用事がないかぎり、ここに記された場所・時間に教員と直接会うことができます。

■科目番号

◇市民開放授業で開放されている科目に割り振られた番号です。受講申込書や払込取扱票に記入する番号です。

科目一覧には2024年8月末時点の情報を掲載していますので、内容に変更がある可能性があります。最新情報は、静岡大学ウェブサイトでご覧いただけます。(https://www.lc.shizuoka.ac.jp/class_list.html)

科目一覧

〔静岡キャンパス〕

〈後学期〉

No.	学務等	授業科目名	(代表)担当教員名	学期	曜日・ 時限	教室名	動画配信の有無			受入可 能人数	難易度	受講料
							Google Classroom	地域創造教育 センター配信	その他			
1	全学	生命科学	栗井 光一郎	後学期	月5・6	共C406	無	無	無	若干名	A	9,700円
2	全学	初修外国語(ドイツ語)Ⅰ	大藺 正彦	後学期	月5・6	共P101	無	無	無	若干名	A	9,700円
3	全学	歴史と文化	藤井 真生	後学期	月5・6	人E201	無	無	無	若干名	B	9,700円
4	全学	初修外国語(中国語)Ⅰ	柯 明	後学期	月5・6	共A203	無	無	有	若干名	A	9,700円
5	全学	大規模自然災害の科学	北村 晃寿	後学期	火3・4	共C406	無	無	無	若干名	A	9,700円
6	全学	富士山学	徳岡 徹	後学期	火3・4	共B401	有	有	無	若干名	A	9,700円
7	全学	エネルギーと環境	大矢 恭久	後学期	火3・4	理B202	無	有	無	若干名	B	9,700円
8	全学	初修外国語(中国語)Ⅱ	張 盛開	後学期	水5・6	共A203	無	有	有	若干名	A	9,700円
9	全学	生物学Ⅱ(基礎B)	栗井 光一郎	後学期	金1・2	共A301	無	有	無	若干名	A	9,700円
10	全学	発酵とサステナブルな地域社会	藤井 真生	後学期	金3・4	共A201	無	無	無	若干名	B	9,700円
11	人文社会科学部	地方財政論Ⅱ	川瀬 憲子	後学期	月5・6	未定	無	無	無	若干名	B	9,700円
12	人文社会科学部	ドイツ言語文化特論Ⅱ	大藺 正彦	後学期	金3・4	人B303	無	無	無	若干名	B	9,700円
13	理学部	植物生化学	天野 豊己	後学期	月3・4	理B212	有	無	有	若干名	C	9,700円
14	農学部	有機化学概論	河合 真吾	後学期	月1・2	農総309	無	無	無	若干名	B	9,700円
15	農学部	木質材料学	小島 陽一	後学期	月1・2	農総310	無	無	無	若干名	B	9,700円
16	農学部	材料力学	小林 研治	後学期	月3・4	農総409	無	無	無	若干名	B	9,700円
17	農学部	応用昆虫学	笠井 敦	後学期	火1・2	農総309	無	無	無	若干名	A	9,700円
18	農学部	食料経済学	柴垣 裕司	後学期	火5・6	農総309	無	無	無	若干名	A	9,700円
19	農学部	果樹園芸学	向井 啓雄	後学期	火7・8	農総201	無	無	無	若干名	B	9,700円
20	農学部	生物資源科学基礎論	小島 陽一	後学期(前半)	水1・2	農総201	無	無	無	若干名	A	6,900円
21	農学部	空間情報科学	園部 礼	後学期	水3・4	農総309	無	無	有	若干名	C	9,700円
22	農学部	雑草学	稲垣 栄洋	後学期	水3・4	農総201	無	無	無	若干名	A	9,700円
23	農学部	保全生態学	山下 雅幸	後学期	金1・2	農総201	無	無	無	若干名	A	9,700円
24	農学部	生物材料接着学	山田 雅章	後学期	金1・2	農総405	無	無	無	若干名	B	9,700円
25	農学部	溪流環境学	今泉 文寿	後学期	金1・2	農総309	無	無	無	若干名	D	9,700円
26	農学部	野菜園芸学	切岩 祥和	後学期	金3・4	農総201	無	有	無	若干名	C	9,700円
27	農学部	木質機能科学	小川 敬多	後学期	金3・4	農総306	無	無	無	若干名	B	9,700円

〔浜松キャンパス〕

〈後学期〉

No.	学務等	授業科目名	(代表)担当教員名	学期	曜日・ 時限	教室名	動画配信の有無			受入可 能人数	難易度	受講料
							Google Classroom	地域創造教育 センター配信	その他			
101	全学	心理と行動B	高橋 晃	後学期	火3・4	未定	無	無	有	若干名	A	9,700円
102	全学	静岡県防災・減災と原子力	大矢 恭久	後学期	金3・4	未定	無	有	有	若干名	C	9,700円
103	全学	ロックとアートからみるメンタルヘルス	太田 裕一	後学期	金3・4	未定	無	無	無	若干名	A	9,700円
104	全学	魅せる化学～環境から経済まで	田中 康隆	後学期	金3・4	未定	無	無	無	若干名	A	9,700円
105	全学	大規模自然災害の科学	北村 晃寿	後学期	金5・6	未定	無	無	無	若干名	A	9,700円
106	全学	SFの世界	高橋 晃	後学期	金5・6	未定	無	無	有	若干名	A	9,700円

A 入門的な内容であり、高校卒業程度の学力を必要とするもの(大学1年次対象の授業)
B より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの(大学2～3年次対象の授業)
C 高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの(大学3～4年次対象の授業)
※演習の難易度は「D」になります。

シラバス一覧

授業科目名	生命科学 (Life Science)					
担当教員名	栗井 光一郎 (AWAI Koichiro)		所属等	学院院理学領域		
			研究室	総 713		
分担教員名	徳元 俊伸					
クラス	学部共通 2	学期	後期		必修選択区分	—
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	月 5・6	
キーワード	細胞の構造、生体分子、DNA、ゲノム編集、植物の光応答戦略、バイオレメディエーション、バイオ燃料					
授業の目標	学生は本講義を通じて、生物分野の基礎を学び理解する。特に最近話題となっているゲノム編集法について理解できるようになる。					
学習内容	主に生命の最小単位である細胞について、またそれをささえる分子、DNA に関して解説し遺伝子のはたらきを理解する。そしてゲノム編集により如何にして遺伝子の働きを変化させるのか、その技術面と変化させた場合の実例を紹介することでゲノム編集法について理解する。					
授業計画	1. 生物の特徴 科学的探求 ダーウィンの進化論 生物の 4 つの特徴 2. 生体分子の性質 核酸 DNA の構造 DNA の複製 3. 生命の科学的基礎 セントラルドグマ 遺伝暗号 転写 翻訳 4. 細胞の構造 細胞説 メンデル遺伝 染色体 5. ゲノム編集法 ゲノム DNA 2 本鎖切断 DNA 修復 6. コロナウイルス 感染の仕組み RNA ワクチン スパイクタンパク質 7. 抗体 抗体分子の構造 免疫細胞 クローン選択仮説 (オンデマンド型授業) 8. 試験 前半のまとめの試験を行います。 9. 植物の光応答戦略① 光の波長 光発芽 もやし 10. 植物の光応答戦略② 花成誘導 葉緑体定位運動 気孔開口 11. 植物の栄養の取り込み 共生システムの利用 必須元素 3 要素 12. 植物が寒さに耐える仕組み 凍結耐性 両親媒性物質 脂肪酸の不飽和化 13. 植物が乾燥に耐える仕組み 乾燥耐性 乾生植物 14. 植物を使った環境浄化 バイオレメディエーション 金属耐性 15. バイオ燃料 バイオアルコール バイオディーゼル バイオガス 16. 期末試験 後半のまとめの試験を行います。					
受講要件	特になし					
テキスト	特になし					
参考書	培風館 レーヴン／ジョンソン『生物学』(上巻) 2006 年 ISBN : 4-563-07796-8					
予習・復習について	出席確認を兼ねて毎回、小テストを実施するので復習を行う必要がある。					
成績評価の方法・基準	小テスト(50%)と期末試験(50%)の成績により評価する。					
オフィスアワー	月曜日 7・8 時限 (2 時 25 分～3 時 55 分) を予定					
担当教員からのメッセージ	当講義により生命倫理の問題で話題に上っているゲノム編集法について正しく理解して欲しい。					

授業科目名	初修外国語（ドイツ語）Ⅰ (German Ⅰ)					
担当教員名	大 藁 正彦 (OZONO Masahiko)		所属等	学術院人文社会科学領域		
			研究室	人文 A 棟 4 2 3		
分担教員名						
クラス	人 1	学期	後期		必修選択区分	選択
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	月 5・6	
キーワード	ドイツ語、ドイツ文化、言語運用能力、多文化理解、文法					
授業の目標	読む・書く・聞く・話すという 4 技能のバランスに配慮して、ドイツ語の基礎的運用能力を身につける。また、英語以外の外国語を学ぶことで、文化を多角的に理解できるようになる。					
学習内容	後期については、前期の復習や、理解が不十分だった部分の確認も行いながら、ゆっくりと進めていきます。教科書の各課は、前期と同じく「メイン・ダイアログ」「文法」「練習」の 3 つの部分から成ります。原則として 2 回の授業で 1 課ずつ進めます。授業中には受講生同士のペア練習も行います。また、折に触れ、さまざまなドイツ事情についても紹介します。なお、本科目は体験型学習科目です。					
授業計画	1. 発音のまとめ・初級文法のまとめ 2. Lektion 1. 週末はどうだった？ 3. 練習：過去形と現在完了形 4. Lektion 2. 今日雨が降らなかったら、ビアガーデンに行きたいな 5. 練習：副文 6. Lektion 3. あそこの椅子の下にある傘は誰の？ 7. 練習：関係文 8. まとめと復習（1）：Lektion 1-3, 中間試験（授業時試験） 9. Lektion 4. 明日サイクリングに行く気はある？ 10. 練習：zu 不定詞句 11. Lektion 5. 日本ではたくさん日本酒が飲まれているの？ 12. 練習：受動態 13. Lektion 6. そんなにたくさんお金があったら何をする？ 14. まとめと復習（2）：Lektion 10-12, 今後の履修へ向けて（オンライン授業回） 15. 練習：接続法 16. 期末試験					
受講要件	クラス指定に従って履修してください。					
テキスト	大藁正彦・Roland Schulz『ドイツ語ネクスト・ステージ [改訂版]』三修社（2,200 円＋税）					
参考書	独和辞典は必携です。					
予習・復習について	授業 1 回あたり、2～3 時間程度の授業外学習が前提です。					
成績評価の方法・基準	筆記試験の成績（80％）と平常点（20％）をもとに評価します。平常点は、原則として各課ごとに行う小テストの結果に授業への参加状況を加味して評価します。正当な理由なく 3 分の 1 以上欠席した場合は成績評価の対象外となります。					
オフィスアワー	金曜日昼休み					
担当教員からのメッセージ	後期から履修する人は、あらかじめ個人で教科書を購入してから受講してください。教科書は初回授業から使います。この授業は、「初修外国語（ドイツ語）Ⅱ」（水曜 5・6 時限、トロスト先生）との組み合わせで開講されています。週 2 回の初修外国語の授業に加えて、人文社会科学部専門科目「専門ドイツ語基礎Ⅱ」（金曜 1・2 時限、及川先生）を履修するのもお勧めです。					

授業科目名	歴史と文化 (History and Culture)					
担当教員名	藤井 真生 (FUJII Masao)		所属等	学術院人文社会科学領域		
			研究室			
分担教員名						
クラス	学部共通 2	学期	後期		必修選択区分	—
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	月 5・6	
キーワード	中世ヨーロッパ、信仰、支配、労働、学問					
授業の目標	異なる地域、異なる時代の歴史について学ぶことにより、現在の日本や日本の歴史について比較・考察するための知識や理解力を養うことを目的とする。					
学習内容	中世ヨーロッパの歴史について、政治史・事件史的ではなく、当時の人々の暮らしぶりに着目して学ぶ。視覚的な資料を用いて想像力を豊かにし、現在の日本との生活との違いを考える。					
授業計画	回 内容 1 イン트로ダクション——中世ヨーロッパ—— 2 中世ヨーロッパの国家と民族 *オンデマンドで実施 3 中世の信仰①キリスト教信仰と聖人 4 中世の信仰②修道士の暮らし 5 中世の信仰③中世の教会美術 6 中世の支配①中世の国家と身分 7 中世の支配②騎士の暮らし 8 中世の支配③紛争と裁判 9 中世の労働①農民の暮らし 10 中世の労働②職人の暮らし 11 中世の労働③商人の暮らし 12 中世の学問①大学の成立 13 中世の学問②学生の暮らし 14 中世の学問③中世の学問 15 まとめ——中世ヨーロッパの特徴とは？——					
受講要件	とくにない。					
テキスト	講義前後にスライド資料を学務情報システムで配信します。					
参考書	各回のテーマごとに、講義内で紹介します。					
予習・復習について	紹介した参考文献に1冊でも多く目を通すことが望ましいです。					
成績評価の方法・基準	期末レポートに授業貢献度を加味して評価します。必ず初回講義に出席し、評価方法・基準を理解したうえで受講してください。					
オフィスアワー	金曜午前（事前にメールで連絡してください）。					
担当教員からのメッセージ	1.県立大学単位互換（認めない） 2.科目等履修生（認める） 難易度 B 日ごろから「ヨーロッパ」や「中世」などの言葉に敏感に反応し、自らヨーロッパ中世についての関心を高めていくように心がけてください。					

授業科目名	初修外国語（中国語）Ⅰ (Chinese Ⅰ)					
担当教員名	柯 明 (KE Ming)		所属等	学院院人文社会科学領域		
			研究室	人 A518		
分担教員名						
クラス	人 1	学期	後期		必修選択区分	選択
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	月 5・6	
キーワード	オーラルトレーニング、ピンイン、声調、イントネーション、異文化理解					
授業の目標	1. 中国語の発音体系に習熟する 2. 中国語の表音文字であるピンインに熟達する 3. 簡単な日常会話ができる基礎学力を獲得する 4. 中国語学習を通じて把握される「中国」なる異文化への理解を深める					
学習内容	中国語の基礎学力をじっくりと養成し、2年次の語学学習へと繋げる授業科目です。前期で習得した発音の基礎を踏まえ、音声面での学習訓練を最も重視しながら、実際に使える語学力（会話・聴解・読解）を身につけさせ、併せて中国の文化や生活にも言及します。また最新の中国事情についても随時紹介していくつもりです。「中国語Ⅰ」の進行状況も留意しながら、文法事項の徹底習得を図ります。なお、2人の中国語担当教員により、同一教科書を用いたリレー方式の授業となりますので、2科目を併せたクラス履修が不可欠です。					
授業計画	1. ガイダンス（目標・計画・方針・留意事項）、前期の復習 2. 文法編 10（各種の疑問詞・助動詞①など） 3. 文法編 11（助動詞②・禁止表現・名詞述語文など） 4. 文法編 12（時間量補語・離合動詞など） 5. 文法編 13（動作量補語・不のまとめ・没のまとめなど） 6. 文法編 14（状態補語・二重目的語・人の場所化など） 7. 文法編 15（単純方向補語・複合方向補語など） 8. 文法編 16（結果補語・副詞の就と才・結果補語となる動詞と形容詞など） 9. 文法編 17（可能補語・方向補語の派生的用法・一～就の構文など） 10. 文法編 18（比較表現・多＋形容詞など） 11. 文法編 19（是～的の構文・譲歩と逆接・進行表現・持続表現・疑問詞の不定用法など） 12. 文法編 20（存現文・副詞の再と又・自然現象・未来表現・処置文・疑問詞の呼応用法など） 13. 文法編 21（受け身文・疑問文＋都/也・使役文・仮定の言い方・越～越～・複文・連用修飾語など） ※14. オンライン授業(1回)：文法の総合復習課題（オンデマンド型で実施する） 15. 復習課題の答え合わせ、中国異文化理解、春休み中の中国語学習について 16. 期末試験					
受講要件	1. 発音矯正についてくること 2. 遅刻・欠席をしないこと					
テキスト	前期で使用した中国語教科書を継続して使用します。王松・王安ほか著『多角度 新感覚 キャンパス・ストーリー 中国語入門』好文出版、ISBN-13: 978-4872201659、2750 円					
参考書	普段の学習以外もっと興味があれば、以下の参考書がおすすめです。 木村英樹著『中国語はじめての一步（新版）』（ちくま学芸文庫）：発音や文法の初歩から、中国語の背景にあるものの考え方や対人観・世界観まで、身近なエピソードとともに解説。楽しく学べる中国語入門。 『whyにこたえるはじめての中国語の文法書』（相原茂・同学社） 『やさしくくわしい中国語文法の基礎』（改訂新版）（守屋宏則・東方書店）					
予習・復習について	語学の学習では、日々の積み重ねが大切なので、予習・復習をしっかりと行なったうえで、なるべく休まず出席してください。 事前予習（10分～20分ほど）：毎週授業が始まる前に基礎発音（ピンイン）練習しておいてください。 事後復習（1時間程度）：語学は復習が大事です。授業後は、単語帳を作る、付属のCDを繰り返して聞く・発音練習・発音チェックなど、各自に合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。					
成績評価の方法・基準	1 平常点（出席状況、小課題、中間テスト）40％ 2 期末試験（教科書を対象に1回実施）60％					
オフィスアワー	授業終了後、また火曜日の昼休みに、柯の研究室（人文社会科学部 A 棟 518）＊事前にメールでご連絡ください。					
担当教員からのメッセージ	千里の行も、足下に始まる。 コツコツ継続することが大事。					

授業科目名	大規模自然災害の科学 (Science of large-scale natural disasters)					
担当教員名	北村 晃寿 (KITAMURA Akihisa)		所属等	学院院理学領域		
			研究室	共通教育 C 棟 311		
分担教員名	岩田 孝仁、小山 真人					
クラス	学部共通 1	学期	後期		必修選択区分	－
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	火 3・4	
キーワード	大規模自然災害、南海トラフ巨大地震と巨大津波、富士山噴火、直下型地震、土砂災害、静岡県					
授業の目標	大規模自然災害、特に静岡県で発生確率の高い南海トラフ巨大地震と巨大津波、富士山噴火、直下型地震、土砂災害などについての科学的見方を修得する。					
学習内容	①大規模自然災害をもたらす原因として、プレートテクトニクスについて理解する。 ②大規模自然災害の発生予測の理論とそれを導く履歴の調査方法を理解する。 ③静岡県で発生確率の高い大規模自然災害の実態を理解する。					
授業計画	第 1 回：プレートテクトニクス（北村） 第 2 回：2011 年 3 月 11 日東北地方太平洋地震の概要（北村） 第 3 回：東北地方太平洋地震・貞観地震による津波堆積物（北村） 第 4 回：静岡県の地質（北村） 第 5 回：静岡県における海溝型地震（北村） 第 6 回：静岡県の地殻変動・地震（北村） 第 7 回：静岡県とその周辺の直下型地震と断層運動（北村） 第 8 回：静岡県の南海トラフ巨大地震・津波の履歴（北村） 第 9 回：静岡県における津波災害とその対策（北村） 第 10 回：東海地震説から東北沖太平洋地震そして現在（岩田） 第 11 回：南海トラフの巨大地震への備え（岩田） 第 12 回：富士山と伊豆東部火山群の噴火史と防災（小山） 第 13 回：静岡県の土砂災害（北村） 第 14 回：気候変動と温暖化現象（北村） 第 15 回：海水準変動と都市地盤（北村）					
受講要件	とくになし。					
テキスト	静岡の大規模自然災害の科学（岩田孝仁・小山真人・北村晃寿編、静岡新聞社）					
参考書	なし。					
予習・復習について	配信する PDF 資料で予習・復習する。					
成績評価の方法・基準	期末試験により評価する。ただし、授業中にホームページ閲覧、動画・音楽視聴・配信、ゲーム、通信・通話などを行っていた場合には、成績評価に影響することがあります。授業中に私語を行っていたり、断りもなく出入りした場合にも、成績評価に影響することがあります。					
オフィスアワー	相談内容・日時に関しては、事前にメールで連絡下さい(アドレス：kitamura.akihisa@shizuoka.ac.jp)					
担当教員からのメッセージ	大規模自然災害ならびにその科学的研究手法を学ぶことに興味のある受講生を歓迎します。時間厳守。					

授業科目名	富士山学 (Fujisan Sciences)				
担当教員名	徳岡 徹 (TOKUOKA Toru)		所属等	学術院理学領域	
			研究室	理学部A棟 517	
分担教員名	小二田 誠二、山岡 拓也、石橋 秀巳、今泉 文寿、増澤 武弘、宗林 留美				
クラス	学部共通 1	学期	後期		必修選択区分 ー
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	火 3・4
キーワード	富士山、世界文化遺産、自然、景観、植物、防災、水質、火山、生い立ち、旧石器時代				
授業の目標	富士山は、火山国日本の象徴的活火山であり、日本一の高さと容積を持つ。このような富士山は古くから人々を魅了し、様々な観点から富士山を見てきた。現代でも様々な分野で富士山は研究されている。この授業を受けることで、科学的側面と文化的側面の両方から富士山を深く理解し、これらの知識を自らの分野に活用することができるようになる。				
学習内容	理学的側面（植物学、地質学、防災学）、人文科学的側面（考古学、景観学）など多様な側面から富士山を学ぶ。				
授業計画	回 内容 1 ガイダンスと総論：富士山に生きる生物－活火山と共に－（静岡大学客員教授、増澤武弘） 2 富士山の上部高山帯、永久凍土とコケ植物（静岡大学客員教授、増澤武弘） 3 富士山における植物の垂直分布 高山帯（静岡大学客員教授、増澤武弘） 4 富士山における植物の垂直分布 亜高山帯・山地帯（静岡大学客員教授、増澤武弘） 5 世界文化遺産と富士山の植物群落（静岡大学客員教授、増澤武弘） 6 世界文化遺産の構成資産と富士山の自然（静岡大学客員教授、増沢武弘） 7 眺める富士山：景観と表現（人文社会科学部、小二田誠二） 8 植物の分類・系統と植物地理学（理学部、徳岡徹） 9 富士山の植物相（理学部、徳岡徹） 10 富士山の周辺地域の植物相（理学部、徳岡徹） 11 富士山の水（理学部、宗林留美）（オンライン） 12 富士山と土砂災害（農学部、今泉文寿） 13 富士山と旧石器時代研究との関わり－愛鷹山麓における旧石器時代研究－（人文社会科学部、山岡拓也） 14 富士山の生い立ち（理学部、石橋秀巳） 15 富士山の噴火（理学部、石橋秀巳）				
受講要件	特になし				
テキスト	特になし。必要に応じて各回の講義で資料を配布します。				
参考書	特になし。必要に応じて各回の授業で紹介します。				
予習・復習について	富士山に関する書籍を読み、予習復習して下さい。				
成績評価の方法・基準	授業担当者ごとに小レポートを課し、これによって評価します。				
オフィスアワー	訪問前にメール（徳岡宛：tokuoka.toru@shizuoka.ac.jp）で問い合わせてください。				
担当教員からのメッセージ	日本の象徴でもある富士山は様々な分野で研究が行われています。富士山のある静岡県の一学生として、深く富士山を理解することは卒業後も様々な場面で役に立つはず です。				

授業科目名	エネルギーと環境 (Energy and Environments)					
担当教員名	大矢 恭久 (OYA Yasuhisa)	所属等	大学院理学領域			
		研究室	理学部 A202			
分担教員名	近田 拓未、矢永 誠人					
クラス	学部共通 1	学期	後期		必修選択区分	—
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	火 3・4	
キーワード	エネルギー、環境、放射線、原子力、新エネルギー、核融合					
授業の目標	エネルギー問題および環境問題の現状について理解すると共に、放射線や核エネルギーと人間との関わりについて科学的な知見について説明できるようになる。					
学習内容	エネルギーと環境問題についてサイエンスの観点から理解するとともに、その解決法の一つである核エネルギー発電の原理および仕組み、核エネルギー発電の問題点を学ぶ。また、放射線の応用的利用についても言及する。					
授業計画	1. エネルギー・環境問題(1) (近田) 2. エネルギー・環境問題(2) (近田) 3. 化石燃料とエネルギーセキュリティー (近田) 4. 原子力発電の仕組みと課題(1) (中部電力：浅原) 5. 原子力発電の仕組みと課題(2) (中部電力：浅原) 6. 核融合の基礎 (大矢) 7. 核融合発電研究の現状と課題 (核融合研：増崎) 8. 原子力発電の仕組みと課題(3) ・まとめ (中部電力：浅原) 9. 放射性廃棄物の処理と処分 (原燃：宮内) 10. 原子力エネルギー行政 (静岡県：神村) 11. 地球温暖化の科学 (大矢) 12. 温室効果ガス削減の取り組み (大矢) 13. 省エネルギー (大矢) (オンライン授業回) 14. 放射線の測定と生物影響 (矢永) 15. エネルギーと環境および社会との関わり (矢永) 講義の順番は前後することがある。					
受講要件	特になし					
テキスト	講義中に資料を配付する。					
参考書	原子力のいまと明日 (日本原子力学会編、丸善) ISBN978-4-621-30373-3 2019 年					
予習・復習について	テキスト、講義資料や関連図書による予習および復習を必ず行うこと。					
成績評価の方法・基準	講義中の小レポートおよび各教員が課すレポートにより評価する。					
オフィスアワー	理 A202 または学務情報システムの問合せから。随時対応					
担当教員からのメッセージ	文理学生合同での講義のため、極力数式を用いない講義とする。エネルギー・環境問題に関する科学的知見を深めることを主たる目標とする。					

授業科目名	初修外国語（中国語）Ⅱ （Chinese Ⅱ）					
担当教員名	張 盛開 (Shengkai Zhang)		所属等	学院院人文社会科学領域		
			研究室	人 A325		
分担教員名						
クラス	人 1	学期	後期		必修選択区分	選択
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	水 5・6	
キーワード	中国語、入門、新感覚、キャンパス、ストーリー					
授業の目標	初級の文法事項を押さえながら、中国語の日常会話や常用表現を身につけます。大学生にとって興味のある話題や身近におきることを取り上げながら、現代中国への理解を深めます。					
学習内容	キャンパスでの生活を主軸とし、ストーリーを学んでいきます。 日常生活で使う実用的な会話表現を、応答練習などを通して実践的に学びます。 たくさんの単語を記憶して、留学生との会話を楽しんでいきます。					
授業計画	この授業は、「初修外国語（中国語）入門Ⅰ」（月 5・6 時限、柯明担当）と同一教科書を使ったリレー授業となります。 1 ガイダンスと中国語での自己紹介 2 発音及び基本的な文法事項の復習 3 可能表現 4 様々なスポーツ 5 心理動詞 6 有名なサイト 7 比較表現 8 交通機関 9 経験表現 10 主な国名と大都市 11 処置表現 12 お金について 13 受身文 14 連絡先交換 15 オンライン回（オンデマント実施）中国の映画を見る 16 試験					
受講要件	中国語入門Ⅰ、Ⅱを履修済みであること。					
テキスト	王松・王安など 『多角度 新感覚 キャンパス・ストーリー 中国語入門』 好文出版 ISBN-13：978-4872201659					
参考書	鐘ヶ江信光著『中国語のすすめ』／三宅登之著『一冊目の中国語』／辞書『デイリーコンサイス中日・日中辞典』					
予習・復習について	予習について：新出単語等は前もって辞書を引いておいてください。 復習について：授業で学んだことを復習するのはもちろんですが、特に暗記は大切です。①就寝前に CD・テープを何度も聴きながら（CD の話者のリズムやスピードを徹底的に真似ながら）憶える。②翌朝に定着度をチェックしながら、今度は反射的によどみなく話せるように練習する。③適宜日数を置いて①と②の練習を 2 クール繰り返す。たとえばこんなふうに、徹底的に耳を鍛え、口を動かしましょう。					
成績評価の方法・基準	小テスト数回 4 割 期末試験 1 回 6 割					
オフィスアワー	火曜日お昼休み 人文 A 棟 325					
担当教員からのメッセージ	楽しく中国語を学び、中国語と中国文化に親しんで中国へ旅をしましょう！中国語を学んで日本語を見直しましょう。					

授業科目名	生物学Ⅱ（基礎B） (Biology II)					
担当教員名	栗井 光一郎 (AWAI Koichiro)		所属等	学術院理学領域		
			研究室	総 713		
分担教員名	丑丸 敬史					
クラス	理MP	学期	後期		必修選択区分	選必
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	金 1・2	
キーワード	ヒトゲノム、遺伝子治療、性淘汰、癌とタバコ、iPS 細胞とクローン、遺伝子と寿命、脂質、機能性食品					
授業の目標	ニュースでとりあげられる生命科学の進展に関して十分な理解が得られ、説明できるようになる。					
学習内容	基本的な生物のしくみを理解した上で、生物学の進展とそれにより影響を受ける社会の問題を理解する。					
授業計画	1. はじめに（生命科学は面白い） 2. 遺伝子、染色体、ゲノムとは 3. ヒトのこんな行動まで遺伝子で決定されている 4. 男と女（遺伝子が違えば行動も違う） 5. ヒトゲノムが決定されると社会は、個人はどう影響を受けるか 6. クローンと臓器移植（オンラインで実施） 7. 癌とタバコ 8. ヒトはなぜ老化して死ぬのか？現代科学で寿命をのばせるか 9. コエンザイム Q10：呼吸の仕組み 10. DHA、EPA：頭がよくなる脂肪酸 11. こんにやくゼリー：本当にカロリーゼロ？ 12. コンドロイチン：軟骨に多い多糖類 13. セラミド：保湿剤？細胞死誘導？ 14. バイオ燃料：エネルギー問題の切り札となるか 15. 植物の必須元素：植物肥料は何のため？ 1～8：丑丸担当、9～15：栗井担当					
受講要件	生物学Ⅰを受講していることが望ましい。					
テキスト	丑丸：『科学でわかる男と女の心と脳』（麻生一枝） 電子書籍 栗井：特に定めない。					
参考書						
予習・復習について	予習・復習としてテキストおよびプリントをよく読んでおく。					
成績評価の方法・基準	毎回行う小テスト、中間テストおよび期末テスト。					
オフィスアワー	丑丸：特に定めないが、午後が比較的時間がとりやすいと思います。来る前に連絡をいただければ助かります。 栗井：丑丸先生と同様です。					
担当教員からのメッセージ	質問を活発にして欲しい。					

授業科目名	発酵とサステナブルな地域社会 (The Institute for Interdisciplinary Studies of Fermentation and Sustainability i)					
担当教員名	藤井 真生 (FUJII Masao)		所属等	学術院人文社会科学領域		
			研究室			
分担教員名	板倉 美奈子、安永 愛、鈴木 実佳、木村 洋子、丑丸 敬史、川瀬 憲子、横濱 竜也、大原 志麻、脇田 陽一、宮地 鉦樹、大貝 健二					
クラス	学部共通 1	学期	後期		必修選択区分	—
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	金 3・4	
キーワード	発酵飲料、サステナビリティ、地域社会、植物資源					
授業の目標	サステナブルな地域社会形成の事例について、発酵飲料を題材として学際的に学ぶ。					
学習内容	①発酵飲料が都市や地域の歴史文化を形成する一因となってきたことを理解する。 ②地域固有の酵母や植物資源を用いた新たなビール醸造の可能性について理解する。 ③発酵飲料が地域における人の結びつきや産業を創出する仕組みについて理解する。					
授業計画	回 内容 1 第 1 回(10/4)：オリエンテーション（藤井） 2 第 2 回(10/11)：発酵食品と酵母（木村） 3 第 3 回(10/18)：中世チェコ都市のビール文化（藤井） 4 第 4 回(10/25)：フランス・ベルギーにおけるビール文化（安永） 5 第 5 回(11/8)：Brewing and Home（鈴木実） 6 第 6 回(11/15)：海洋由来微生物を活用したサワービールの開発（鈴木雅） 7 第 7 回(11/22)：樹木の発酵飲食品への利用 ～ヤチヤナギを中心に～（脇田） *オンデマンド 8 第 8 回(11/29)：ヤチヤナギビールの醸造（深澤） 9 第 9 回(12/6)：花酵母の単離とその応用（丑丸） 10 第 10 回(12/13)：掛川市における地域医療とビールづくり（宮地） 11 第 11 回(12/20)：清酒産業・クラフトビールと地域の内発的発展（川瀬） 12 第 12 回(1/10-17)：北海道・東北における日本酒と地域産業（大貝） *オンデマンド 13 第 13 回(1/10-17)：ビール醸造と法令（横濱） *オンデマンド 14 第 14 回(1/17)：発酵飲料・食品と SDGs・カーボンニュートラル（板倉） 15 第 15 回(1/24)：ビールを通じたサステナブルな地域社会創生の試み（大原）					
受講要件	とくになし。					
テキスト	とくになし。					
参考書	担当者がその都度紹介する。					
予習・復習について	必要な場合は担当者が指示する。					
成績評価の方法・基準	コメントペーパー70%、期末レポート 30%により評価する。					
オフィスアワー	藤井：金曜午前。メールで事前に連絡をください（fujii.masao@shizuoka.ac.jp）。					
担当教員からのメッセージ	歴史文化や自然資源、産業など、地域のあり方を学際的に学ぶことに関心のある受講生を歓迎します。					

授業科目名	地方財政論Ⅱ (Regional Public FinanceⅡ)					
担当教員名	川瀬 憲子 (KAWASE Noriko)		所属等	学術院人文社会科学領域		
			研究室	共通 L 棟 4 0 9		
分担教員名						
クラス	人文専門	学期	後期		必修選択区分	選択
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	月 5・6	
キーワード	地方自治、地方分権、まちづくり、公共事業、社会保障、地方税、課税自主権、政府間財政関係、福祉社会、住民参加					
授業の目標	地方財政や自治・参加のシステムがどのように発展し、いま、どのような改革がもとめられているのかといった諸課題に対して、分野別に国際比較の観点からの幅広い洞察力を培うことができますようになります。					
学習内容	現代日本の地方財政をめぐる諸課題に焦点を当てて、財政学の伝統的な方法論にしたがって、地方予算論、地方経費論、公共事業・社会資本論、社会福祉論、地方税論、地方財政調整制度論、補助金論、地方債論などの個々のテーマごとに、制度と国際比較の視点から学ぶことができます。地方自治体におけるまちづくりの住民参加・住民共同参画などの諸課題に対しても、具体的な事例をもとに理解することができますようになります。					
授業計画	回 内容 1 地方財政の課題 2 地方予算論―財政民主主義とは 3 地方経費論① 国家の役割と地方経費 4 地方経費論② 日本の地域開発と地方財政 5 地方経費論③ 日本の民活型地域開発とまちづくりにおける住民参加 6 地方経費論④ 少子高齢者社会と地域福祉 (1) 子育て支援等 7 地方経費論⑤ 少子高齢社会と地域福祉 (2) 高齢者介護等 8 地方税論① 地方税の課税原則 9 地方税論② 所得課税 (個人住民税) 10 地方税論③ 法人課税 (法人住民税と法人事業税) 11 地方税論④ 資産課税 (固定資産税) と消費課税 12 国・地方の財政関係 (オンデマンド授業回) 13 地方財政調整制度・補助金論 14 地方債論 15 地方行財政改革をめぐって―住民自治と福祉社会の展望					
受講要件	毎回出席すること。					
テキスト	平岡和久・川瀬憲子ほか編著『入門 地方財政』自治体研究社、2023 年					
参考書	重森暁・植田和弘『Basic 地方財政論』有斐閣、2013 年、 川瀬憲子『「分権改革」と地方財政』自治体研究社、2011 年、 川瀬憲子『アメリカの補助金と州・地方財政』勁草書房、2012 年、 川瀬憲子『集権型システムと自治体財政』自治体研究社、2022 年ほか					
予習・復習について	参考書や新聞などをしっかり読んでおくこと。					
成績評価の方法・基準	平常点 (30) と定期試験 (70%) をもとに評価を行います。授業のまとめや小レポートを課す予定です。					
オフィスアワー	授業時にてお伝えします。					
担当教員からのメッセージ	授業中は携帯電話の電源をオフにすること。 県立大学との単位互換：認める。 科目等履修生：認める。 難易度 B					

授業科目名	ドイツ言語文化特論Ⅱ (Special Topics in German Language and LiteratureⅡ)					
担当教員名	大菌 正彦 (OZONO Masahiko)		所属等	学術院人文社会科学領域		
			研究室	人文 A 棟 4 2 3		
分担教員名						
クラス	人文専門	学期	後期		必修選択区分	選択
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	金 3・4	
キーワード	ドイツ語、言語運用能力、読解、翻訳、多文化理解					
授業の目標	特に「読む」能力を重点的に向上させながら、中級レベルのドイツ語運用能力を身につける。また、翻訳や異文化についての考察を通し、ことばや文化を多角的に理解できるようになる。(DP 2B：外国語の運用力、2-c：多様な文化の理解、2-d：国際的感覚の涵養)					
学習内容	日本語の文学作品のドイツ語訳を、言語学的な関心から読んでいきます。その際、特に日本語とドイツ語の相違について検討し、理解を深めます。ドイツ語の読解に加え、初級文法の復習、基本語彙や慣用句の学習も行います。また、異文化や翻訳の問題にも着目します。本科目は体験型学習科目です。					
授業計画	例えば次のような学習内容を考えています。 (I. 読解) 1. 村上春樹をドイツ語で読む 2. 吉本ばななをドイツ語で読む 3. 夏目漱石をドイツ語で読む 4. 芥川龍之介をドイツ語で読む 5. 日本古典文学をドイツ語で読む 6. 複数のドイツ語訳を読み比べる (II. 文法) 7. 初級文法の復習 8. 未習文法事項の学習 9. 文語表現の特徴 (III. 語彙) 10. 基本語彙の習得 11. 口語と文語の違い (IV. 翻訳) 12. 翻訳の種類 13. レアリアの問題：日本特有のものをドイツ語にどう訳すか 14. 文法の問題・文体の問題 15. 翻訳と翻案（試験期間中に実施）					
受講要件	初級レベルのドイツ語が身につけていること。予習して授業に参加できること。					
テキスト	プリントで配布します。					
参考書	太田達也『ドイツ語おもしろ翻訳教室』NHK 出版。 関口一郎『マイスター ドイツ語コース 2 表現』大修館書店。 関口一郎『マイスター ドイツ語コース 3 語法』大修館書店。 独和辞典は必携です。その他授業中に適宜紹介します。					
予習・復習について	授業 1 回あたり、2～3 時間程度の授業外学習が前提です。					
成績評価の方法・基準	予習も含めた授業への取り組みをもとに評価します。筆記試験は行いません。出席は評価の前提です。正当な理由なく 3 分の 1 以上欠席した場合は成績評価の対象外となります。					
オフィスアワー	金曜日昼休み					
担当教員からのメッセージ	ドイツ語を読む練習をしながら、言語や文化に関する知識を深めていきたいと思います。力が伸びていくのを実感できるのはきっと楽しいと思います。					

授業科目名	植物生化学 (Plant biochemistry)					
担当教員名	天野 豊己 (AMANO Toyoki)		所属等	大学院理学領域		
			研究室	総 721		
分担教員名						
クラス	理学専門科目	学期	後期		必修選択区分	選必
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	月 3・4	
キーワード	タンパク質、葉緑体、光合成、分子シャペロン、膜透過、老化、過敏感反応					
授業の目標	植物のタンパク質合成および分解の分子機構を、発生および分化、老化と合わせて総合的に理解する。					
学習内容	光化学系の構造と機能、その構築機構、膜透過装置の作用機構などについて、タンパク質の立体構造とその機能変化の視点から解説を行う。これらのタンパク質複合体が形成する上で重要な分子シャペロンの作用機構および膜透過に関与するトランスロケーターについて解説する。また植物の老化および病原菌への作用機構など、生理学的に興味深い現象についても解説を行う。					
授業計画	回 内容 1 光合成装置の概説 2 光化学系 II 3 シトクロム b6f 複合体と Q サイクル 4 光化学系 I 5 FoF1-ATP 合成酵素 6 膜タンパク質の分類 7 膜タンパク質の分析方法 8 分子シャペロン I 型 9 分子シャペロン II 型 10 膜透過装置の種類 11 膜透過装置の輸送機構 12 葉緑体の膜透過装置 13 葉緑体におけるタンパク質分解 14 植物の老化過程の分子機構 15 植物におけるプログラム細胞死（オンデマンド型によるオンライン授業）					
受講要件	植物の生化学およびタンパク質科学について興味があること					
テキスト	主としてプリントを配布する。					
参考書	植物の生化学・分子生物学（学会出版センター、ISBN 9784762230400）、細胞の分子生物学（Newton Press、ISBN 9784315520620）、ヴォート 生化学（上下）第4版（東京化学同人、ISBN 9784807908073（上）、ISBN 9784807908080（下））、など。					
予習・復習について	しっかり行って下さい。					
成績評価の方法・基準	特別な事情のない限り 2/3 以上の出席を評価対象とし、成績評価は期末試験で判断します。					
オフィスアワー	訪問前にメール(amano.toyoki@shizuoka.ac.jp)で連絡を下さい。					
担当教員からのメッセージ	積極的に取り組んで下さい。					

授業科目名	有機化学概論 (Introduction to Organic Chemistry)					
担当教員名	河合 真吾 (KAWAI Shingo)		所属等	学院院農学領域		
			研究室	農学部総合棟 325		
分担教員名						
クラス	生物資源	学期	後期		必修選択区分	選必
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	月 1・2	
キーワード	有機化合物の構造と結合、立体化学、求核付加反応、縮合反応、置換反応、生体分子					
授業の目標	有機化学の重要性を理解し、有機化合物の構造、命名法、立体化学に関して記述できる。有機化合物の官能基（カルボニル基や水酸基など）の反応機構の基礎を学び、その反応生成物を予測し、化合物の合成経路を反応の法則に従って分類できる。また、有機化合物を生体成分の化学構造に関連付けて説明できる。					
学習内容	有機分子の構造・性質について講義した後、構造式や命名法、立体化学、反応機構の基礎を概説する。生体分子の化学構造を交えて講義し、生体反応を有機化学の観点から理解する。					
授業計画	第1回 構造と結合：酸と塩基 第2回 有機化合物の性質 アルカン 第3回 有機反応の性質 アルケンとアルカン 第4回 <オンデマンド講義> 化学ソフトを用いた化学構造の書き方 第5回 アルケンとアルキンの反応 第6回 芳香族化合物 求電子置換反応 第7回 芳香族化合物 参加と還元 第8回 立体化学 第9回 ハロゲン化アルキル 第10回 アルコール、フェノール、エーテル 性質 第11回 アルコール、フェノール、エーテル 反応 / アルデヒドとケトン 性質 第12回 アルデヒドとケトン 求核付加反応 第13回 アルデヒドとケトン 共役求核付加反応 / カルボン酸とその誘導体 性質 第14回 カルボン酸とその誘導体 反応 / カルボニル化合物のα置換反応 第15回 カルボニル化合物の縮合反応					
受講要件	特に無し					
テキスト	マクマリー有機化学概説、J. McMurry、E. Simanek 著、伊藤椒、児玉三明訳、東京化学同人 ISBN 9784807909278					
参考書	マクマリー生物有機化学、J. McMurry 他著、菅原二三男監訳、丸善 ISBN：978-4-621-30241-5					
予習・復習について	教科書をよく読んで、予習・復習を行い、理解できない点は教員に質問すること。					
成績評価の方法・基準	・履修態度（25％）と毎回の小テスト（25％）、最終試験（50％）の合計で評価する。 ・「知識・理解」：主要キーワードに関して、正確に説明できるかどうか評価する。 ・「分析・思考力」：学習内容を理解し、授業目標に関する応用問題に対して適応できるかどうか評価する。 ・成績の「秀」は90%以上、「優」は80%以上、「良」は70%以上、「可」は60%以上とする。					
オフィスアワー	農学総合棟、325 室で随時受け付ける。					
担当教員からのメッセージ	化合物の化学構造や反応性、生体分子の構造と機能を知ることは、農学（生物資源科学）を学ぶ上で非常に重要です。興味を持って授業に望んでください。オフィスアワーを積極的に利用してください。					

授業科目名	木質材料学 (Wood based Materials)					
担当教員名	小島 陽一 (KOJIMA Yoichi)		所属等	学院院農学領域		
			研究室	農学部総合棟 321		
分担教員名						
クラス	生物資源	学期	後期		必修選択区分	選必
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	月 1・2	
キーワード	循環型社会、木質資源、再生利用技術、木質材料、カーボンニュートラル、セルロースナノファイバー					
授業の目標	再生産可能な木質資源を人類の生活に必須な材料として有効利用するための手法を、科学技術的な観点から理解する。					
学習内容	木質材料開発の歴史と今後の方向性、環境と木質資源、各種木質系材料の製造技術と材質の特徴、耐久性等について講義する。					
授業計画	第1回：木質資源利用のあり方 第2回：木質材料の歴史 第3回：木質材料の基礎技術 第4回：材料開発の方向性 第5回：エンジニアードウッド 第6回：軸材料(1)概要 第7回：軸材料(2)集成材 第8回：軸材料(3)単板積層材 第9回：軸材料(4)その他 第10回：面材料(1)概要 第11回：面材料(2)合板 第12回：面材料(3)OSB、パーティクルボード 第13回：面材料(4)MDF 第14回：最近話題の木質材料(セルロースナノファイバー：CNF)【オンデマンド授業】 第15回：最近話題の木質材料(木材プラスチック複合材料：WPC)【オンデマンド授業】					
受講要件	応用木質材料学、木質機能科学、木質接着学、木質材料学実験等の科目と関連が深い					
テキスト	鈴木正治他編：「木材科学講座8 木質資源材料」海青社 ISBN:4-906165-49-4					
参考書	講義中に適宜紹介する。					
予習・復習について	授業で取り扱った基礎的事項に関して、必ず復習すること。 理解できない点は必ず教員に質問すること。					
成績評価の方法・基準	・履修態度、課題提出、試験の結果を総合して評価する。 ・「秀」は90%以上、「優」は80%以上、「良」は70%以上、「可」は60%以上とする。					
オフィスアワー	農学総合棟 321 号室（小島）で随時受け付けます。事前にメール等で連絡して下さい。					
担当教員からのメッセージ	資源の利用と環境との関連を考える良い機会であると思います。 積極的に質問してください。					

授業科目名	材料力学 (Strength of Material)					
担当教員名	小林 研治 (KOBAYASHI Kenji)		所属等	学院農学領域		
			研究室	農学部総合棟 331		
分担教員名						
クラス	生物資源	学期	後期		必修選択区分	選必
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	月 3・4	
キーワード	応力、ひずみ、弾性体、はり、たわみ					
授業の目標	弾性体に作用する応力と変形の関係について体系的に理解することを目指す。構造設計に用いる諸公式が、弾性力学の理論にもとづいてどのように導かれるのかを理解する。部材の応力、変形を求めることができるようになる。					
学習内容	力のつりあい、弾性体の応力と変形について学ぶ。微小区間における応力のつり合いから、断面二次モーメント、たわみ曲線の方程式を導く。エネルギー保存則にもとづく仮想仕事の原理について学ぶ。得られた関係式を用いて部材の応力、変形を求める。					
授業計画	授業計画 第1回：ガイダンス、力とモーメント 第2回：力のつり合いと反力 第3回：切断法による応力の求め方 第4回：応力度とひずみ度 第5回：断面の性質 第6回：曲げ応力、せん断応力度 第7回：中間試験 第8回：曲げ変形の基本式 第9回：不静定はり 第10回：トラス構造 第11回：静定ラーメンの断面力 第12回：仕事とひずみエネルギー 第13回：仮想仕事の定理 第14回：座屈 第15回：材料力学の応用（オンデマンド型授業） 定期試験					
受講要件	木質機能科学、木質構造学との関連が深い。					
テキスト	彰国社 建築材料力学 榎並昭 1989 年 ISBN4-395-00276-5 その他講義中に適宜配布する。					
参考書	理工図書 建築構造力学 上 構造力学研究会 2011 年 ISBN978-4-8446-0734-2 その他講義中に適宜紹介する。					
予習・復習について	本講義は反転授業形式で実施します。各講義回に対応する講義動画を事前に視聴し、講義日には問題演習を中心に行います。					
成績評価の方法・基準	レポート課題の合計点 50%、期末試験の得点 50%で評価する。					
オフィスアワー	昼休み、農学総合棟 331 室。メールで連絡してください。					
担当教員からのメッセージ	実際に手を動かして計算することが理解につながります。問題を解いていてわからないときは積極的に質問してください。					

授業科目名	応用昆虫学 (Applied Entomology)					
担当教員名	笠井 敦 (KASAI Atsushi)		所属等	学院農学領域		
			研究室	農学総合棟 474		
分担教員名						
クラス	生物資源	学期	後期		必修選択区分	選必
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	火 1・2	
キーワード	昆虫の生態、群集構造、種間相互作用、生殖法と遺伝様式、進化、薬剤抵抗性発達、総合的害虫管理					
授業の目標	害虫を防除する目的から発達した応用昆虫学ですが、今日ではその枠を超えて、様々な動物の行動様式や進化といった生命現象に潜むパターンを解明するための強力な方法論となっています。この講義では、そんな応用昆虫学について、特に生態学や害虫防除論に関する基礎事項を理解することを目的とします。					
学習内容	スライドなどを用いた対面講義により、教科書に示されている事項の解説をおこないます。					
授業計画	回 内容 1 ガイダンス・応用昆虫学とは 2 利己的な遺伝子 3 昆虫の発生 4 昆虫の生活環と季節適応 5 昆虫の移動・分散（オンデマンド授業） 6 昆虫の個体群密度変動と密度調節 I 7 昆虫の個体群密度変動と密度調節 II 8 昆虫の群集構造と種間相互作用 I 9 昆虫の群集構造と種間相互作用 II 10 昆虫の生殖法 11 昆虫の遺伝 12 薬剤抵抗性と抵抗性発達のメカニズム 13 総合的害虫管理 14 化学的防除 15 生物的防除					
受講要件	特になし					
テキスト	「応用昆虫学の基礎」後藤哲夫・上遠野富士夫 編 2019 （農文協）ISBN：9784540171215					
参考書	「応用昆虫学」（朝倉書店） 「応用昆虫学の基礎」（朝倉書店） 「天敵」（養賢堂）					
予習・復習について	テキストや参考書などに目を通し、講義の概要を把握しておいてください。					
成績評価の方法・基準	定期試験期間に実施する筆記試験（100 点）により評価します。					
オフィスアワー	研究室（農学総合棟 474 室）に直接来るか、e-mail により連絡してください。					
担当教員からのメッセージ	昆虫研究を通じて、我々人類は様々な自然現象を理解することができました。しかし、それはまだほんの序の口に過ぎません。生物の進化、生態、行動、種間相互作用などについて、皆さんが応用昆虫学を通じて考えるきっかけになれば幸いです。					

授業科目名	食料経済学 (Food Economics)					
担当教員名	柴垣 裕司 (SHIBAGAKI Hiroshi)		所属等	学院院農学領域		
			研究室	農学部総合棟 511		
分担教員名						
クラス	生物資源	学期	後期		必修選択区分	選必
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	火 5・6	
キーワード	フードシステム、食の需給、食料問題、食料政策					
授業の目標	毎日口にしている「食料」が、どのように生産され、どのようにして食卓にのぼってくるのか、すなわち、フードシステムについて説明できるようになる。また、「食料」の持つ様々な経済的性質が、その需要と供給の両面に及ぼす様々な影響やフードシステムにおける各段階の問題点について理解できるようになる。そして、世界や日本における「食料」に関する諸問題について関心を持ち、それについて考えることで、世界や日本における「食料」のあり方を形成していく力になる。					
学習内容	我々が毎日口にしている「食料」が、どのように生産され、どのようにして食卓にのぼってくるのかについて、各段階の問題点を交えながら講義する。また、「食料」の持つ様々な経済的性質が、その需要と供給の両面に及ぼす様々な影響について言及するとともに、世界や日本における「食料」に関する諸問題について考えてもらうよう問題提起を行う。					
授業計画	オンライン授業の内容と実施回も変更の可能性があるので、教員からの連絡に注意してください。 第1回：フードシステムの概要 第2回：食生活の変遷 第3回：食生活の特徴 第4回：食料の需要の弾力性 第5回：食料の供給 第6回：食の外部化 第7回：外食産業の動向と現代の特徴 第8回：わが国農業の特色 第9回：農産物生産の動向 第10回：食品製造業の構造的特徴 第11回：食品卸売業の変化 第12回：食料政策と貿易問題（オンデマンド型授業） 第13回：食品小売業の業態変化 第14回：世界の食料問題 第15回：環境と食料問題 期末試験					
受講要件	特になし。					
テキスト	特になし。プリントを配布する。					
参考書	高橋正郎監修、「食料経済 第5版」、オーム社、2016年、978-4-274-21922-1					
予習・復習について	学問の性格上、講義内容が広範囲にわたるので、特に復習をしっかりと講義内容を理解すること。					
成績評価の方法・基準	期末試験（90％）、オンライン授業課題（10％）で評価する。 評価基準として、期末試験では講義内容の理解度、すなわちフードシステムの概要、その各段階の問題点や相互関連性、食料の経済的特質と食料需給への影響等に対する理解度を見る。					
オフィスアワー	基本は月曜日の午後ですが、不在時も多いため、相談事のある方は、事前にメールで当方の都合を聞いてください。					
担当教員からのメッセージ	・経済学の理論を援用して食料の経済的側面について講義しますが、経済活動を説明する理論に関心を持ってください。経済学の理論は社会に出てからはもちろん、皆さんの現在の生活にも応用可能な理論です。 ・経済学には興味がないという人がいますが、経済と無関係の技術はありません。技術者（研究者）を目指す人も技術が経済や社会に与える影響について考えてください。					

授業科目名	果樹園芸学 (Pomology)					
担当教員名	向井 啓雄 (MUKAI Hiroo)		所属等	学院農学領域		
			研究室	農学総合棟 428		
分担教員名						
クラス	生物資源	学期	後期		必修選択区分	選必
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	火 7・8	
キーワード	果樹、栽培技術、生理生態					
授業の目標	果樹における主要な栽培技術とその生理生態学的背景に関して理解する。 果樹栽培において今後新たに発生する問題点に対する応用力を習得する。					
学習内容	果樹園芸に関する基礎理論を生理・生態学的見地から解説し、あわせて種苗・栽植から収穫に至る主要な栽培管理技術の現状と今後の展望について講義する。					
授業計画	回 内容 1 ガイダンス、果樹園芸学とは 2 果樹園芸の特徴と生産 3 種類と品種 4 環境と果樹の生態 5 育種・繁殖 6 開園と栽植 7 花芽形成と結果習性 8 受精と結実 9 果実の発育 10 果実の成熟と収穫後生理 11 水分生理と土壌管理 12 樹体栄養と施肥 13 整枝・せん定 14 生理障害・病害虫 15 まとめ オンデマンド					
受講要件	特になし					
テキスト	米森敬三編、『果樹園芸学』、朝倉書店、2015、9784254410372					
参考書	伴野潔・山田寿・平智、『果樹園芸学の基礎』、農山漁村文化協会、2013、9784540112041 金浜耕基編、『果樹園芸学』、文永堂出版、2017、9784830041297 その他授業中に紹介する。					
予習・復習について	教科書での予習復習、ならびに専門用語を正確に理解すること。					
成績評価の方法・基準	筆記試験（択一式と記述式）において成績評価する（100%）。 択一式 20 問（40 点）と記述式 3 問（60 点）による得点から偏差値を計算する。 偏差値を求める場合の母集団を植物資源科学科 2 年とする。 評価点＝偏差値＋30 評価点の最高値を 100 とする。また、試験欠席者の評価点を 0 とする。					
オフィスアワー	月曜授業終了以降～（農学総合棟 428 等） 電子メールによる質問は随時受け付ける。 メールアドレス mukai.hiroo@shizuoka.ac.jp					
担当教員からのメッセージ	構内圃場に各種果樹が植えられているので適宜観察する。					

授業科目名	生物資源科学基礎論 (Introduction to Bioresource Science)					
担当教員名	小島 陽一 (KOJIMA Yoichi)		所属等	学院農学領域		
			研究室	農学部総合棟 321		
分担教員名						
クラス	農学共通	学期	後期		必修選択区分	—
対象学年	1 年	単位数	1	曜日・時限	水 1・2	
キーワード	生物資源科学、カリキュラムマップ、キャリア形成、分野探究					
授業の目標	生物資源科学の研究分野全体を見渡す視点を身につけ、キャリア形成について考える。					
学習内容	生物資源科学科を構成する研究分野を学ぶためのカリキュラムモデルを知り、興味や適正について考え、キャリア形成を構築する。					
授業計画	授業計画 第1回： 生物資源科学分野の概要 第2回： 山岳流域分野の概要 第3回： 作物生産・園芸科学分野の概要 第4回： 生物資源保全・植物保護・昆虫科学分野の概要 第5回： 木質科学分野の概要 第6回： 農業経済・哲学分野の概要 第7回： キャリアデザイン 第8回： コース概要と分属説明（クラス担任）					
受講要件	特になし					
テキスト	資料が必要な場合は、印刷して配布する。					
参考書	久保康之編 農学概論 朝倉書店 978-4-254-40025-0 3,630 円					
予習・復習について	興味を持った分野については、更に自分で調べてください。					
成績評価の方法・基準	各回の小テストまたはレポートによる、「合」「否」で評価する。					
オフィスアワー	各担当教員にメールで質問してください。					
担当教員からのメッセージ						

授業科目名	空間情報科学 (Geo Informatics)					
担当教員名	菌部 礼 (SONOBE Rei)		所属等	学院農学領域		
			研究室	農学総合棟 279		
分担教員名						
クラス	生物資源	学期	後期		必修選択区分	選択
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	水 3・4	
キーワード	地理情報システム、航法衛星システム、電子地図、デジタル写真測量、レーザ測量、データサイエンス					
授業の目標	空間情報を扱う上で必要とされる技術の習得をめざします。					
学習内容	空間情報学は、位置情報と属性情報から構成される空間情報を扱う学問であり、リモートセンシング、地理情報システム (GIS)、航法衛星システム (GPS や準天頂衛星)、レーザ測量、デジタル写真測量、電子地図、IT 技術などを用いた先端技術及びそれらの分析技術を包括しています。本講義では、これらの基本的な知識を学びます。					
授業計画	以下の 15 回で構成されています。 地理情報システムに関する回では、データ駆動型社会とデータサイエンス、データ加工、機械学習に関する回では、機械学習の基礎と展望、アルゴリズムの例も扱います。また、実利用例を紹介する回では、ビッグデータとデータエンジニアリングに関する内容が含まれています。 回 内容 1 地図の歴史 (1) 行基式日本図や混一疆理歴代国都之図 2 地図の歴史 (2) 江戸時代以降の日本図作成 3 地理情報システム 4 航法衛星システム(1) GNSS の概要 5 航法衛星システム(2) GPS による単独測位 6 航法衛星システム(3) ディファレンシャル測位 7 電子地図(1) 地球のモデル化、投影法 8 電子地図(2) 座標系、高さ、地図編集 9 デジタル写真測量(1) 写真測量の概念 10 デジタル写真測量(2) 用語の説明 11 デジタル写真測量(3) 練習問題 12 レーザ測量 13 機械学習 (オンデマンド型) 14 合成開口レーダ (オンデマンド型) 15 実利用例 (オンデマンド型) 16 期末試験					
受講要件	特になし					
テキスト	なし					
参考書	授業内で別途指示する。					
予習・復習について	必要な予習・復習を、その都度お伝えします。					
成績評価の方法・基準	期末試験(85%)及び小レポート(15%)をもとに評価します。					
オフィスアワー	都合の良い日時を伝えますので、メールで連絡してください。					
担当教員からのメッセージ						

授業科目名	雑草学 (Weed Science)					
担当教員名	稲垣 栄洋 (INAGAKI Hidehiro)			所属等	学院農学領域	
				研究室	藤枝フィールド	
分担教員名						
クラス	生物資源	学期	後期		必修選択区分	選必
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	水 3・4	
キーワード	雑草、生理生態、管理技術					
授業の目標	雑草とはどのような植物であるのか、また雑草を管理する上で重要な雑草の生理生態に関する基礎的知識を習得することを課題とする。					
学習内容	農業生産や緑地生産における雑草防除を行う上で重要な、雑草の生理生態と管理技術について講義する。					
授業計画	第1回：雑草学序論 第2回：雑草の概念と起源 第3回：雑草の種類と分類 第4回：雑草の種子繁殖特性 第5回：雑草の栄養繁殖特性 第6回：雑草の種子伝播 第7回：雑草の変異 第8回：雑草害の種類 第9回：雑草の防除法の種類 第10回：除草剤 第11回：水田の雑草管理 第12回：畑地の雑草管理 第13回：非農耕地の雑草管理 第14回：雑草の総合防除と生態系管理 第15回：まとめ（オンデマンド） 定期試験					
受講要件						
テキスト						
参考書	雑草学総論（養賢堂）					
予習・復習について	復習：授業内容について理解を深める。					
成績評価の方法・基準	筆記試験 50%、毎回のレポート 50%で評価する。					
オフィスアワー	メールで連絡をしてください。					
担当教員からのメッセージ						

授業科目名	保全生態学 (Conservation Ecology)					
担当教員名	山下 雅幸 (YAMASHITA Masayuki)	所属等	学院農学領域			
		研究室	農学総合棟 472			
分担教員名						
クラス	生物資源	学期	後期		必修選択区分	選択
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	金 1・2	
キーワード	生物多様性、保全、生態学、農業生態系					
授業の目標	生物多様性の危機的現状およびその保全の必要性を理解する。また、農業生態系（たとえば里山）など、人間との関わりの深い2次的自然の重要性についての認識も深める。					
学習内容	「生物多様性の保全」という社会的な目標の実現のための指針と技術の確立を目指す保全生態学について学ぶ。生物多様性の意味、その危機的現状、保全の必要性などを理解する。					
授業計画	回 内容 1 生物多様性とは何か 2 生物多様性の創出 3 人間活動による生物多様性の変化 4 生物多様性の喪失で何が起きる？ 5 復習とまとめ（オンライン授業） 6 生物多様性と供給・調整・文化サービス 7 生物多様性条約とは？ 8 生態系サービスと生物多様性の評価 9 復習とまとめ（オンライン授業） 10 生物多様性を保全するには ー概論ー 11 生物多様性を保全するには ー企業編ー 12 復習とまとめ（オンライン授業） 13 生物多様性を保全するには ー地方自治体編ー 14 生物多様性を保全するには ー市民編ー 15 復習とまとめ					
受講要件	基礎生態学を受講し、その内容を理解しておくことが望ましい。					
テキスト	使用しない。適宜、資料を配付する。					
参考書	鷲谷いづみ（2016）生態学：基礎から保全へ 培風館 Andrew S. Pullin（2004）保全生物学 丸善 Richard B. Primack（1997）保全生物学のすすめ 文一総合出版 樋口広芳編（1996）保全生物学 東京大学出版会 鷲谷いづみ・矢原徹一（1996）保全生態学入門 文一総合出版 その他、講義中に適宜紹介する。					
予習・復習について	予習・復習のために、毎回宿題（あるいは小テスト）を課す。					
成績評価の方法・基準	課題（小テスト含む）40%と期末試験 60%の合計で評価する。 評価基準は講義内容の理解度等をみる。					
オフィスアワー	授業終了後および他の曜日は 16:00～17:00（ただし、他の曜日は事前にメール連絡してから）					
担当教員からのメッセージ	資料や演習問題等を通して、生物多様性の保全が他人事ではなく、自分自身の生活と様々に関連していることに気づき、考えるきっかけになればと思います。					

授業科目名	生物材料接着学					
担当教員名	山田 雅章 (YAMADA Masaaki)			所属等	学院院農学領域	
				研究室	農学総合棟 329	
分担教員名						
クラス	生物資源	学期	後期		必修選択区分	選必
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	金 1・2	
キーワード	生物材料、接着剤、接着理論、レオロジー、木質材料、接着試験法、接着耐久性、フィールド利用、室内空気質					
授業の目標	身近にある接着製品、木質材料、いろいろな接着剤についてそれらの性質や製造について学び、特に接着剤の特徴（化学構造による分類、性質の違い、用途）が説明できることを目指す。また、物と物とがなぜ接着するかに関する接着の理論を説明できるようにする。代表的な木質材料である合板、集成材、木質ボードの製造や性能を説明できるとともに、それらの性能が使用接着剤により大きく変わることを理解し説明できるようにする。 また、新たな接着剤の活用方法として、新しい農産物の生産法、農業・林業資材の開発についても理解を深める。					
学習内容	接着に関する基礎理論、接着にするレオロジー、各種接着剤の名称・分類と主要な特徴と性質、木材などの生物材料及び建築材料の接着に関する基礎、木材接着試験法および評価法、室内空気質問題について学ぶ。					
授業計画	回 内容 1 授業ガイダンス 木質製品・材料のサンプル観察、生物材料の特徴について 2 生物材料の接着の基礎 比接着と機械的接着 3 生物材料の接着の基礎 粘弾性と木材接着、応力集中 4 接着の界面科学 5 接着の工程 6 接着剤の分類と固化様式 7 接着剤の種類 熱硬化性樹脂 8 接着剤の種類 熱可塑性樹脂 9 接着剤の種類 複合型樹脂・その他 10 接着に関する生物材料の因子 11 接着に関する接着剤の因子 12 接着に関する接着操作・装置の因子 13 接着の性能評価と耐久性 14 家具の接着 15 木材接着と環境・健康問題（在宅授業）					
受講要件	生物材料科学概論、木質材料学やバイオサイエンス実験Ⅰ など関連の授業、実験を受講することが望ましい。					
テキスト	初回授業時にテキストを配布する。					
参考書	木材接着の科学（海青社）ISBN978-4-86099-206-4C3058					
予習・復習について	毎回授業の予習、とくに復習は必ず行って欲しい。					
成績評価の方法・基準	履修状況の確認、毎回の小テスト（30％）、期末レポート結果（70％）を総合して評価する。成績の「秀」は90％以上、「優」は80％以上、「良」は70％以上、「可」は60％以上とする。					
オフィスアワー	質問等があれば速やかに応じます。学務情報システムに書かれたメールアドレスに連絡してください。					
担当教員からのメッセージ	1・2限目の授業であるので遅刻しないで出席すること。卒業後住宅企業、接着剤メーカー、住器メーカー、家具メーカー等に就職を考える学生に受講して欲しい。また、新規農業法の開拓や農御油資材等に関する内容もあるので、農業に関連する学生にも履修して欲しい。					

授業科目名	溪流環境学 (Torrent Control)					
担当教員名	今泉 文寿 (Fumitoshi IMAIZUMI)		所属等	学院院農学領域		
			研究室	農学総合棟 274		
分担教員名						
クラス	生物資源	学期	後期		必修選択区分	選択
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	金 1・2	
キーワード	溪流、砂防学、河川工学、土砂水理学、防災					
授業の目標	一般河川の水の流れや源流域で生産された土砂の移動形態、さらには砂防をはじめとした溪流の管理手法について理解する。					
学習内容	一般河川の上流や溪流を対象に、水と土砂の移動運搬に関する実態と対策について溪流環境の保全といった観点を交え講義する。源流域で生産された土砂がどのような移動形態をとり下流に運搬されるか、溪流の防災や保全がどのように行われるのかについて、広範囲に学ぶ。					
授業計画	1 溪流環境の重要性と課題 2 斜面と溪流のつながり 3 溪流の水理学（流れの区分） 4 溪流の水理学（マニング式とベルヌーイの定理） 5 溪流における土砂の移動（土石流） 6 溪流における土砂の移動（掃流） 7 溪流における土砂の移動（浮遊） 8 溪流における土砂の移動（河床変動） 9 砂防調査と計画 10 砂防えん堤の機能 11 砂防えん堤の設計 12 溪流保全工 13 災害と防災 14 防災のありかた 15 まとめ（オンデマンド型授業）					
受講要件	「砂防学実習」の基礎科目となる。「森林水文学」、「山地保全学」、「応用気象学」、「地質学概論」、「地学実習」と関連が深い。					
テキスト	随時授業資料を配布する。					
参考書	砂防学（朝倉書店、丸谷 編、ISBN 4254470533、2019 年）					
予習・復習について	特に復習が必要な箇所を授業で伝えます。理解できないあるいは疑問を生じた箇所は、質問してください。					
成績評価の方法・基準	3 回の小テストにより評価する。 成績の「秀」は 90%以上、「優」は 80%以上、「良」は 70%以上、「可」は 60%以上とする。					
オフィスアワー	理解できない、あるいは疑問を生じた箇所は、随時受け付けます。コメントペーパーやメール等でも受け付けますし、農学総合棟 274 号室に来ていただいても大丈夫です。					
担当教員からのメッセージ	積極的な授業態度で受講してください。質問等、大歓迎です。					

授業科目名	野菜園芸学 (Vegetable Crop Science)					
担当教員名	切岩 祥和 (KIRIIWA Yoshikazu)		所属等	学院院農学領域		
			研究室	農学総合棟 481		
分担教員名						
クラス	生物資源	学期	後期		必修選択区分	－
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	金 3・4	
キーワード	周年供給、安定生産、品目・品種・学名・原産地、発育生理、露地栽培、施設栽培、作型分化、果菜類、葉根菜類、連作障害					
授業の目標	野菜の作型分化を通して、「周年供給」「安定生産」に対する理解を深めることを目標とする。					
学習内容	日本の野菜栽培は、「周年供給」「安定生産」を目標として栽培技術の発展・普及がなされてきた。本講義では、これらをキーワードとして、野菜生産の現状及び問題点について述べるとともに、果菜類・葉根菜類を中心とした野菜の発育生理・栽培生理を講義する。					
授業計画	15 回に加え、16 回目に期末試験を行う。 回 内容 1 野菜園芸について 2 成長と生育 1：発芽と茎・葉・根 3 成育と成長 2：花成と開花・受精・果実肥大 4 環境反応と代謝 5 野菜園芸の育種（オンデマンド型授業） 6 栽培技術の基本 7 作型と栽培体系 1：施設利用型野菜 8 作型と栽培体系 2：品種利用型野菜 9 作型と栽培体系 3：特異な作型をもつ野菜（イチゴ） 10 施設環境と施設栽培 11 環境保全、省力化などをねらった栽培法 12 果菜類の特性と栽培 13 葉菜類の特性と栽培 14 根菜類の特性と栽培 15 施設園芸と植物工場					
受講要件	園芸科学、植物生理学を受講しておくことが望ましい。					
テキスト	野菜園芸学の基礎(篠原温 編)、農文協 (ISBN978-4-540-11205-8)					
参考書	「蔬菜園芸学」伊東 正他著（川島書店）、 「野菜園芸学」金浜耕基編（文永堂）、 「園芸学概論」斎藤 隆他著(文永堂)、 「野菜の発育と栽培」藤目幸擴他著（農文協）、 「環境制御のための植物生理」（農文協）、 「エッセンシャル植物生理学 農学系のための基礎」牧野 周他著（講談社）					
予習・復習について	本講義では「植物の育て方」に関する様々な技術について学びます。そのためには「植物の育ち方」について理解しておく必要があります。生物学や植物生理学で学んだことを必要に応じて復習して講義に参加するとより理解が深まると思います。また本講義の素材はみなさんにとって身近な野菜です。食料としての野菜の特性を観察すると同時に、価格動向、栽培状況、市場の動向などに日ごろから目を向けて欲しいと思います。					
成績評価の方法・基準	評価の方法は、課題の取り組み状況（30%）と期末試験（70%）で評価します。評価の基準は、主要なキーワードについて理解し、社会実装されている技術との結びつきを説明できること。野菜園芸学で学んだ専門知識に基づき生産技術の理解と農業生産が抱える課題を見出し、安定生産にとって必要な技術について理論的に説明できる力を評価します。					
オフィスアワー	メール等でアポイントメントをとって研究室等を訪問してください。					
担当教員からのメッセージ	本講義は野菜生産の現状と栽培生理を講義するもので、直接的栽培技術は扱いません。テキストでは野菜園芸学に関する基礎を理解できますが、現場で求められる力はこれだけでは身につけません。現場には予期できない課題も多く、その都度適切な対処が求められます。そこで、ちょっと難しい課題を用意しましたので、力を付けたい人はしっかり取り組んでみてください。					

授業科目名	木質機能科学 (Physical and Mechanical Properties of Wood)					
担当教員名	小川 敬多 (OGAWA Keita)		所属等	学院農学領域		
			研究室	農総 332		
分担教員名	田中 孝					
クラス	生物資源	学期	後期		必修選択区分	選必
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	金 3・4	
キーワード	密度、含水率、膨潤・収縮、弾性、応力、ひずみ、ヤング係数、強度、粘弾性					
授業の目標	木材の物理的・力学的性質に関する基礎的な事項を理解することを目指す。					
学習内容	木材と水分の関係、木材乾燥方法、木材と熱・電気の関係、さらに木材の弾性・粘弾性・強度等の力学的特性に関する基本的な考え方を述べ、木材の性質をふまえた建築への利用について概説する。					
授業計画	授業計画 第 1 回 木材の構造と形態（田中） 第 2 回 木材の密度（田中） 第 3 回 木材と水（田中） 第 4 回 木材の膨潤・収縮（田中） 第 5 回 木材の熱特性（田中） 第 6 回 木材の電気的性質・音響・光特性（田中） 第 7 回 木材産業における乾燥技術（田中） 第 8 回：木材の力学的性質(1)応力とひずみ（小川） 第 9 回：木材の力学的性質(2)弾性と塑性（小川） 第 10 回：木材の力学的性質(3)クリープと応力緩和（小川） 第 11 回：木材の強度(1)引張・圧縮・曲げ（小川） 第 12 回：木材の強度(2)許容応力度（小川） 第 13 回：木材の性能評価(1)木材の材料特性（小川） 第 14 回：木材の性能評価(2)木質接合部（小川） 第 15 回：木質構造接合部の設計事例（小川・オンデマンド型授業） 定期試験					
受講要件	生物材料科学概論、材料力学、木質構造学、住環境工学等の講義、および木質科学実験等の実験との関連が深い。					
テキスト	石丸優・古田裕三・杉山真樹編「木材科学講座 3 木材の物理」海青社 ISBN978-4-86099-418-1					
参考書	日本木材学会 編「木質の物理」(文永堂出版)、 伏谷賢美他 著「木材の科学 2 木材の物理」(文永堂)、 北原覚一 著「木材物理」(森北出版)、 彰国社 建築材料力学 榎並昭 ISBN4-395-00276-5					
予習・復習について	授業で取り扱った基礎的事項に関して、必ず復習すること。 理解できない点は必ず教員に質問すること。					
成績評価の方法・基準	学期末試験の結果により評価する。					
オフィスアワー	農学総合棟 330 室（田中）、332 室（小川）で随時受け付ける。事前にメール等で連絡して下さい。					
担当教員からのメッセージ	授業開始時に出席を確認するため、遅れないこと。必ず復習をするようにして下さい。積極的に質問して下さい。					

授業科目名	心理と行動B (Psychology and Behavior B)					
担当教員名	高橋 晃 (TAKAHASHI Akira)		所属等	学院情報学領域		
			研究室	J-2523		
分担教員名						
クラス	工1	学期	後期		必修選択区分	—
対象学年	1年	単位数	2	曜日・時限	火3・4	
キーワード	感覚・知覚、記憶、学習、思考、心理検査、脳、人工知能					
授業の目標	人間の“こころ”をさまざまな側面からとらえ、その多様な情報処理特性を把握することができるようになる。					
学習内容	“こころ”を扱う古典的な心理学のテーマに、脳や人工知能などの認知科学的トピックを絡ませて学習することで、現代的な「人間への理解」ができるようになる。					
授業計画	授業計画 テーマ ----- (1)導入 講義の概要・課題等 人間とは (2)感覚・知覚(1) 視覚以外の感覚・知覚の性質 (3)感覚・知覚(2) 視知覚の性質 (4)学習(1) 条件付け (5)学習(2) 洞察・社会的学習 (6)記憶(1) 記憶の性質 (7)記憶(2) 記憶の分類と病理 (8)思考とエラー(1) 思考の性質 (9)思考とエラー(2) 思考の階層とヒューマンエラー (10)心をはかる(1) 知能検査 (11)心をはかる(2) 性格検査 (12)脳と心 脳の構造とその機能（オンデマンド講義） (13)人間らしさと心と人工知能(1) 人間/動物/AIの性質と区別（外見・知能） (14)人間らしさと心と人工知能(2) 人間/動物/AIの性質と区別（会話・感情 他） (15)人間らしさと心と人工知能(3) Re:人間とは 全体の復習と体験実験の説明 ----- また講義時間内・講義時間外に行われる「心理学実験」を実際に体験することで理解を深めることも含まれる					
受講要件	人間とその心に興味があること。					
テキスト	全体は特に指定しない。各トピックで参考図書を示す場合がある。					
参考書	心理学全体の概要書として以下を示す。 「心理学 第5版補訂版」東京大学出版会(2020) ISBN-13：978-4130121170					
予習・復習について	講義テーマについて各自予習しておくことが望ましい。また講義終了後の復習コメントも必須である。					
成績評価の方法・基準	毎回の課題コメントと最終課題レポートの成績で決定する。					
オフィスアワー	学務情報システムの「教員連絡」機能から連絡をしていただければ随時対応します。					
担当教員からのメッセージ	学び、考え、深めよう。					

授業科目名	静岡県防災・減災と原子力 (Disaster prevention and mitigation for nuclear safety in Shizuoka)				
担当教員名	大矢 恭久 (OYA Yasuhisa)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	理学部 A202	
分担教員名	矢永 誠人、熊野 善介、小杉 素子、鈴木 誠之				
クラス	情工	学期	後期		必修選択区分 ー
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	金 3・4
キーワード					
授業の目標	静岡県は東海地震想定域に位置しているとともに、中部電力浜岡原子力発電所を有している。そのため、長期的なエネルギー問題や原子力の在り方について「みんなで考える」機会を持つと共に、防災・減災（特に原子力防災・減災）の在り方について理解を深め、原子力の在り方について学生自らの問題として理解し、考えることができるようになる。				
学習内容	静岡県の減災・防災の取り組みや原子力・放射線への理解を高めると共に、原子力防災・減災の取り組みや長期的なエネルギー問題における原子力の在り方について「みんなで考える」そして「みんなで理解する」科目である。グループワークを通して、自分の問題として原子力や防災・減災について考えてみる。中部電力、静岡県、静岡新聞社の担当者を招聘してそれぞれの機関での防災対策についても解説してもらいます。				
授業計画	1. エネルギーと環境（大矢） 2. 放射線と放射能（大矢） 3. 浜岡原子力発電所と安全対策（中部電力：浅原） 4. 静岡県の原子力防災・減災体制（静岡県：神村） 5. 防災と議論（郡司） 6. 報道と原子力防災（静岡新聞：鈴木） 7. 目で見る放射線とその防護（1）距離のよる変化（大矢、柿添） 8. 目で見る放射線とその防護（2）遮へいによる変化（矢永、柿添） 9. 学校における防災を中心とした安全管理・安全教育等と東日本大震災からの教訓社会合意形成とは（山本） 10. エネルギー環境教育と静岡市の緊急時支援体制（熊野） 11. リスクコミュニケーション論（小杉） 12. 防災教育（高塚） 13. 原子力災害からの復興（大矢） 14. 放射性廃棄物処分のための社会合意形成（大矢） 15. まとめ（オンライン授業回）（大矢） 講義の順番は前後することがある。				
受講要件	特になし				
テキスト	新訂版 静岡県の防災・減災と原子力（大矢恭久編、静岡学術出版）ISBN978-4-86474-165-1 2022 年				
参考書	なし				
予習・復習について	テキスト、講義資料や関連図書による予習および復習をおこなうこと。				
成績評価の方法・基準	講義中に小レポートおよび期末のレポートを総合的に評価する。				
オフィスアワー	理 A202 室または学務情報システムの問合せから。随時受付				
担当教員からのメッセージ	静岡県の原子力の在り方、原子力防災・減災の在り方についてみんなで考えてみませんか？基本的に対面で行う計画です。				

授業科目名	ロックとアートからみるメンタルヘルス (Rock, Art and Mental Health)					
担当教員名	太田 裕一 (OTA Yuichi)		所属等	保健センター		
			研究室	工学部 7 号館 3 F		
分担教員名						
クラス	情工	学期	後期		必修選択区分	選択
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	金 3・4	
キーワード	ロック、現代アート、メンタルヘルス、臨床心理学、精神医学、歴史学、宗教学、哲学、民俗学、サブカルチャー					
授業の目標	学生がロック、現代アートなどを通じて精神障害やメンタルヘルスに関する基本的な知識を身につけられるようになること。ロックやアートの歴史を振り返ることで、情報の氾濫や日常生活の中で埋もれてしまっている歴史的視点を理解することの重要性を知ること。ロック、現代アートの持つ批判的精神について学ぶこと。					
学習内容	現代アート作品を紹介し、ロックの歴史をたどりながら、関連する精神疾患について解説します。歴史的な視点を得るために、身近な謎について答えてもらいます。 過去の講義で取り上げたミュージシャン：シド・バレット、ソフト・マシーン、キング・クリムゾン、ジェネシス、ヴェルヴェット・アンダーグラウンド、パティ・スミス、ラモーンズ、ジミ・ヘンドリックス、ジャニス・ジョプリン、ザ・ドアーズ、ビートルズ、ローリング・ストーンズ、キンクス、ザ・フー、ボブ・ディラン、ディープ・パープル、レッド・ゼッペリン、セックス・ピストルズ、ダムド、クラス、コンフリクト、MC5、デッド・ボーイズ、ストゥージーズ、ニルヴァーナ、マリリン・マンソン、ブラインド・メロン、ティム&ジェフ・バックリー、村八分、モップス、はっぴいえんど、外道、フリクション、スターリン、筋肉少女帯、ヒカシュー、GISM、amazarashi、初音ミク。 アーティスト(ジャンル)：John Hathway、草間彌生、石井徹也、松井冬子、会田誠、山口晃、村上隆、カイカイキキ、近藤聡乃、やなぎみわ、球体関節人形、金子國義、谷川俊太郎、寺山修司、浮世絵、アウトサイダー・アート、岡本太郎、ヘンリー・ダーガー、アンディ・ウォーホル、ニキ・ド・サンファル、バルテュス、妖精画。 メンタルヘルスの話題：統合失調症、うつ病、双極症、PTSD、アルコール依存症、薬物依存、DV、自閉スペクトラム症、ADHD、性別違和。					
授業計画	01. ロックミュージックのルーツ 02. ロックと破壊、人間の攻撃性 03. サイケデリック・ミュージックと意識の拡大 04. ドラッグ、ヒッピー、人間潜在力開放運動 05. 統合失調症と幻聴という体験 06. ベトナム戦争と PTSD 07. グラムロックと両性具有 08. アウトサイダー・アートと精神疾患 09. ロックと反社会性、パンクロックの起源 10. ニューウェーブ ゴシックとグロテスク 11. ハードコアパンクと暴力、ドメスティックバイオレンス 12. 自閉スペクトラム障害 サヴァン症候群 13. 摂食障害 自傷と自己肯定感 14. 人形とフランケンシュタイン 15. 人間の心のレジリエンス タイトルは仮題です。受講者から学びたい精神疾患や心理的問題について募り、なるべくそれらにふれながら進める予定です。					
受講要件	ロックを爆音で聞ける人。とりあげる現代アートには性的なものやグロテスクなものが含まれるのでそれに耐えられる人。					
テキスト	特になし。					
参考書	久能徹・太田裕一「史上最強図解 よくわかるフロイトの精神分析」(ナツメ社)					
予習・復習について	毎回ミニレポートを課すので、講義で取り扱ったテーマなどを復習することが必要になります。					
成績評価の方法・基準	毎回、Microsoft Teams のチャットで 200 字以上のミニレポートを提出します。ミニレポートの内容は講義の感想や、課題です。ミニレポートの代わりに Teams の専用チャンネルでお気に入りの音楽、アートを紹介してくれてもかまいません。毎回のミニレポートと最終レポート (2000 字以上。ロックまたはアート作品についてメンタルヘルスにからめて論じる) で評価します。評価はミニレポート、最終レポート、講義へ					

	の積極的な参加によって行います。評価比率は 5:4:1 です。最終レポートを提出できるのはミニレポートを 10 回以上提出した人に限ります。講義への積極的な参加は、イラスト、自作音楽、「歌ってみた」、「演奏してみた」などの投稿、twitter 実況等によって評価します。
オフィスアワー	質問等は随時 Microsoft Teams のチャットを使用してください。
担当教員からのメッセージ	ミニ・レポートでリクエストアーティスト及びリクエスト曲を募って講師が弾き語りを行います。twitter 実況の公式ハッシュタグは #mentalrock の予定。ロック・現代アート・メンタルヘルスなどに関心ある方の積極的な参加を期待します。

授業科目名	魅せる化学～環境から経済まで (Chemistry seductive・beyond ecology and economy)					
担当教員名	田中 康隆 (TANAKA Yasutaka)		所属等	学術院工学領域		
			研究室	C311		
分担教員名	立元 雄治、昆野 昭則、奥谷 昌之、鳴海 哲夫、杉田 篤史					
クラス	情工	学期	後期		必修選択区分	選択
対象学年	3 年	単位数	2	曜日・時限	金 3・4	
キーワード	肥料、太陽光、公害、地球環境、医療と創薬、新交通システム、光と化学、リサイクル、エネルギー、経済と化学					
授業の目標	「化学」は基礎学問から応用まで、あらゆる場面で登場する稀有な領域である。太陽光発電、肥料、医薬品、電池、超伝導、食品加工に至るまで、化学の領域に含まれる。人間は自然界の化学物質と関わり、また化学物質を作り出して暮らしを豊かにしてきた。一方、化学物質は問題を引起こす場合もある。身近な天然と人工の化学物質、化学物質が引き起こす問題、さらにはその問題を解決するための技術および今後の展望について考え理解を深める。世界経済は本当に環境に優しい方向にすすんでいるのかも考える。					
学習内容	ここでは「魅せる = 見せる」とし、動画を活用して多面的な化学の世界を理解する。化学物質と人間との関わりを軸に、化学の様々な視点からの講義を通じて基礎から環境・エネルギー等、人類の抱える諸問題に至るまでの幅広い内容を学習する。 また化学しくみや功罪を学びながら「医療と創薬」、「光と化学」、「地球環境と化学物質」、「経済と化学」を中心に学習する。					
授業計画	1 回目：授業内容紹介。田中康隆担当 2 回目：エネルギーを貯めるシステムについて。田中康隆担当 3 回目：経済と化学_電気自動車はエコか？ 田中康隆担当 4 回目：化学物質の生産と処理技術（1）。立元雄治担当 5 回目：化学物質の生産と処理技術（2）。立元雄治担当 6 回目：毒と薬、人工と天然、材料とゴミといったキーワードから化学物質の二面性について考える。昆野昭則担当 7 回目：グリーンケミストリー（環境に配慮した化学合成およびプロセス）について紹介する。昆野昭則担当 8 回目：光と色の化学。そのむかしは光の速度はどのようにして測定したのか。杉田篤史担当 9 回目：光と色の化学。教会のステンドグラスの赤の色はどのようにして作り出していたのか、光と色と化学の関係を解説する。杉田篤史担当 10 回目：創薬化学とケミカルバイオロジー（1）。鳴海哲夫 担当 11 回目：創薬化学とケミカルバイオロジー（2）。鳴海哲夫 担当 12 回目：エネルギー材料 1：新エネルギー源としての期待の高い太陽光発電について、その開発動向について解説する。奥谷昌之担当 13 回目：エネルギー材料 2：リニアモーターカーに代表される超伝導材料について、実用化と課題について解説する。奥谷昌之担当 14 回目：ディスカッション。担当教員全員担当。 15 回目：「魅せる化学」の全体のまとめをオンラインで行う。 担当教員の順番が入れ替わる事があります。					
受講要件	特になし					
テキスト	テキストは用いず、必要に応じて資料を配付する。					
参考書	「まんが化学に強くなる」（講談社：BlueBacks シリーズ）、「化学のしくみ」（ナツメ社）等であるが、特に購入の必要はない。					
予習・復習について	特に予習復習は必要ないが、日頃から化学物質・環境・エネルギー問題等への関心をもって、授業に臨んでもらいたい。					
成績評価の方法・基準	8 割以上の出席で評価の対象とする。授業への取り組み状況とレポートにより評価する。 受講態度が悪い場合は、評価の対象としない。					
オフィスアワー	質問は随時受け付けますが、応じられないときもあることを承知おきください					
担当教員からのメッセージ	福島原子力事故あるいは新型コロナウイルスの蔓延等、化学、環境、エネルギーの関係が注目を集めている。化学的なものが環境を壊したならば、化学の力で解決されるべきである。電子物質科学科および化学バイオ工学科の教員が「化学」に関するエネルギー、環境、人間生活と化学の関わり等、ホットな話題を平易に、特に画像を使って解説する。オムニバス形式の講義で、内容に一部重複もあるが、同じ事柄でも話し手（教員）ごとに異なる見解があることも含めて化学物質と人間のかかわりについて考えてもらいたい。特に教員によっては講義資料を置いたホームページを紹介する場合がある。必要に応じてダウンロードしてください。授業中は、それら資料は指示が無い限り必要ないので、スマホ、タブレット、パソコンの起動は禁止します。					

授業科目名	大規模自然災害の科学 (Science of large-scale natural disasters)					
担当教員名	北村 晃寿 (KITAMURA Akihisa)		所属等	大学院理学領域		
			研究室	共通教育 C 棟 311		
分担教員名	岩田 孝仁、小山 真人					
クラス	情工	学期	後期		必修選択区分	－
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	金 5・6	
キーワード	大規模自然災害、南海トラフ巨大地震と巨大津波、富士山噴火、直下型地震、土砂災害、静岡県					
授業の目標	大規模自然災害、特に静岡県で発生確率の高い南海トラフ巨大地震と巨大津波、富士山噴火、直下型地震、土砂災害などについての科学的見方を修得する。					
学習内容	①大規模自然災害をもたらす原因として、プレートテクトニクスについて理解する。 ②大規模自然災害の発生予測の理論とそれを導く履歴の調査方法を理解する。 ③静岡県で発生確率の高い大規模自然災害の実態を理解する。					
授業計画	第 1 回：プレートテクトニクス（北村） 第 2 回：2011 年 3 月 11 日東北地方太平洋地震の概要（北村） 第 3 回：東北地方太平洋地震・貞観地震による津波堆積物（北村） 第 4 回：静岡県の地質（北村） 第 5 回：静岡県における海溝型地震（北村） 第 6 回：静岡県の地殻変動・地震（北村） 第 7 回：静岡県とその周辺の直下型地震と断層運動（北村） 第 8 回：静岡県の南海トラフ巨大地震・津波の履歴（北村） 第 9 回：富士山と伊豆東部火山群の噴火史と防災（小山） 第 10 回：東海地震説から東北沖太平洋地震そして現在（岩田） 第 11 回：南海トラフの巨大地震への備え（岩田） 第 12 回：静岡県における津波災害とその対策（北村） 第 13 回：静岡県の土砂災害（北村） 第 14 回：気候変動と温暖化現象（北村） 第 15 回：海水準変動と都市地盤（北村）					
受講要件	とくになし。					
テキスト	静岡の大規模自然災害の科学（岩田孝仁・小山真人・北村晃寿編、静岡新聞社）					
参考書	なし。					
予習・復習について	配信する PDF 資料で予習・復習する。					
成績評価の方法・基準	期末試験により評価する。ただし、授業中にホームページ閲覧、動画・音楽視聴・配信、ゲーム、通信・通話などを行っていた場合には、成績評価に影響することがあります。授業中に私語を行っていたり、断りもなく出入りした場合にも、成績評価に影響することがあります。					
オフィスアワー	相談内容・日時に関しては、事前にメールで連絡下さい(アドレス：kitamura.akihisa@shizuoka.ac.jp)					
担当教員からのメッセージ	大規模自然災害ならびにその科学的研究手法を学ぶことに興味のある受講生を歓迎します。時間厳守。					

授業科目名	S F の世界 (The World of SF)					
担当教員名	高橋 晃 (TAKAHASHI Akira)		所属等	学院情報学領域		
			研究室	J - 2 5 2 3		
分担教員名	原田 伸一朗					
クラス	情工	学期	後期		必修選択区分	選択
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	金 5・6	
キーワード	フィクション、科学技術、文学、アート、社会&政治、エンタテイメント、未来予測、アイディア、リアリティ、創作					
授業の目標	現在における SF について、その歴史と現状を把握できるようになる。また、受講生が SF 的な「広範な視野」を持てるようになり、SF 的な「柔軟な思考」を鍛えることができるようになる					
学習内容	現代の「SF」は「サイエンスフィクション」の域を超え、様々な意味合いを含み持つようになった。フィクションであり、娯楽でありながら、また一方で人類自身に対する真摯な考察をも含む、複合的な領域として存在する現在の「SF」について、その現状を学ぶ。さらに、受講生が、SF の根底に流れる「SF 的な視野」「SF 的な思考法」を持ち、活用できるようになることも期待する。					
授業計画	「SF の世界」について 15 回のツアーを行う ----- (01) SF の世界 「SF 新大陸ツアー」の解説 “SF の源” 地図 (02) SF とメディア(1) 様々なメディアにおける SF 小説・文芸雑誌（“ライトノベル” 含む）映画・特撮 (03) SF とメディア(2) 様々なメディアにおける SF 絵画・マンガ・アニメーション・ゲーム (04) SF と社会 SF において描かれる社会 ディストピア（原田）政治制度 (05) SF と倫理 倫理と SF とテクノロジー 戦争と SF ファーストコンタクト (06) SF と時間 時間を巡る考察 過去と未来 架空戦記 (07) SF と科学 近いようで遠い科学と SF 未来予測 疑似科学 (08) SF とリアリティ SF を SF 足らしめている要素の一つとしてのリアリティについて 架空論文 (09) SF と世界 各地域における SF の流れ (10) SF と近接領域 SF とその周りの作品との関係 ファンタジー・冒険小説・ミステリー・ホラー・伝奇 (11) SF とアイディア SF 的な思考と SF を生み出す思考（冬期休暇中のオンデマンド講義予定） (12) SF とゲーム 親和性の高いゲームと SF の関係 (13) SF とところ SF と人間のところと“超能力” (14) SF と人間 SF は人間をどうとらえてきたのか AI を通しての人間観 (15) Re:SF の世界 あらためて「SF の世界」について ----- 各回のテーマに応じた個別の作品・作家の解説を含む					
受講要件	「SF」に興味がある人					
テキスト	特に指定しない					
参考書	「SF 入門」「SF 解説」と名の付く書籍類 例：谷岡一郎「SF はこれを読め！」（ちくまプリマー新書）ISBN-13: 978-4480687838					
予習・復習について	SF に関わる様々な作品を各自が視聴・体験しておくことが望ましい					
成績評価の方法・基準	各回における「コメント課題」等と「最終レポート」を併せて総合的に評価する（各 50%）					
オフィスアワー	質問・疑問等は随時学務情報システムの「教員問合わせ」機能から連絡をお願いします。					
担当教員からのメッセージ	SF の世界は広大です。しばらくの間、共に旅をしていきましょう。					

払込取扱票 記入例

払込取扱票														
00														
口座記号・番号はお間違えないよう記入してください。														
口座記号					口座番号（右段で記入）					金額				
0 0 8 4 0 * 4					9 8 7 2 5					金 額 千　百　十　万　千　百　十　円				
静　岡　大　学										科 金		備 考		
市民開放授業 9,700円 × □件＝ ●●●●●●円 科目番号 ■■, ■■, ■■ 6,900円 × □件＝ ●●●●●●円 科目番号 ■■ 合計 ○○,○○○円														
〒△△△ - △△△△ おなまえ △△△△△△ △△△△△△△△ (ご連絡先電話番号) △△△ - △△△ - △△△△ 日 附 印														

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
これより下段には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証														
00														
口座記号・番号はお間違えないよう記入してください。														
口座記号					口座番号（右段で記入）					金額				
0 0 8 4 0 * 4					9 8 7 2 5					金 額 千　百　十　万　千　百　十　円				
静　岡　大　学										科 金		備 考		
記録事項を訂正した場合は、その箇所は訂正印を押してください。 おなまえ △△△ △△△△△ (ご連絡先電話番号) 日 附 印														

この受領証は、大切に保管してください。

(注意) ①赤文字の箇所にご記入ください。

②各授業の科目番号および受講料は、「市民開放授業科目一覧」(P20)に記載されています。

■記入上の注意

- ◇受講する科目数を□に記入し、受講料と掛け合わせた金額を●部分にご記入ください。
- ◇「市民開放授業科目一覧」を参考に、受講する科目の科目番号（左列）を■部分にご記入ください。複数ある場合は、「,」「,」などで区切ってください。
- ◇算出した合計金額を○部分にご記入ください（3箇所）。計算が間違っていないか、必ずご確認ください。
- ◇△部分にご自分の郵便番号、住所、お名前をご記入ください。記入がないと、どなたからの入金か分かりませんので、忘れずにご記入をお願いいたします。
- ◇振替払込請求書兼受領証は、受講証が届くまでなくさないように保管してください。

2024年度（後学期）静岡大学市民開放授業 受講申込書

国立大学法人 静岡大学長 殿

※裏面の注意事項を必ず確認し、身分証明の写しを貼付すること →

住 所	〒		
ふりがな			性別(どちらかに○) 男・女
氏 名			印
生 年 月 日	(西暦)	年 月 日	(歳)
電 話	(携帯)	(自宅)	
E - m a i l	(フリガナ)		
メールアドレスをお持ちの方は必ずご記入ください。 未記入の場合はメールが届きません。	(メールアドレス)		
	※英数字等区別しにくいものは丁寧に書きください(例:「0」(ゼロ)と「o」(オー)、「1」(イチ)と「l」(エル)など)。 ※休講等の連絡をメールで送信しますが、他に学生向け情報も配信されますので、あらかじめご了承ください。 ※携帯メールの方は大学からのメールが受信できるように設定をしてください(発信アドレス: gakujo@adb.shizuoka.ac.jp)		
職 業	会社員・自営業・無職・主婦・学生・その他 ()		
最 終 受 講 歴	2024年度前学期 ・ それ以前 ・ 初めて (あてはまるもの1つに○)		
静 大 eduroam ゲスト用アカウント発行	要 ・ 不要 ※キャンパス内での無線LAN利用には静大eduroamゲスト用アカウントによる接続設定が必要です。 無線LANの利用を希望する方は 要 に○をおつけください。		

※承認印をもらう前に、市民開放授業科目一覧に掲載されている科目番号と受講科目を正確に記入してください。

科目番号	受講科目	担当教員氏名	授業曜日・時限	担当教員承認日	担当教員承認印 (またはサイン)
			曜日 時限	/	
			曜日 時限	/	
			曜日 時限	/	
			曜日 時限	/	
			曜日 時限	/	

上記授業科目を受講したいので、裏面の注意事項に同意のうえで、申し込みます。

以下大学側記入欄

受講の登録受付日	講習料の納付日	受講証の交付	
		(受講証番号)	(交付日)
		(学籍番号)	

(注) 受講生の個人情報に関しては、細心の注意を払い、市民開放授業の申込みの確認、市民開放授業に関する連絡、今後の大学の市民向け事業のご案内に利用させていただきます。

注意事項

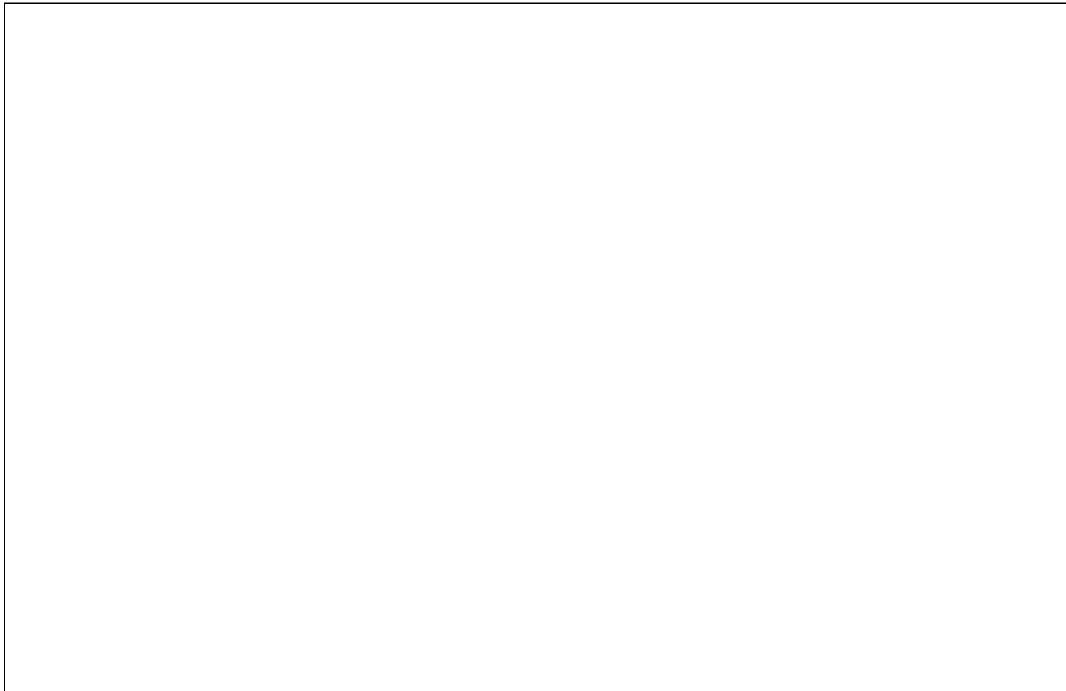
市民開放授業の受講生は、受講にあたり、以下のことを遵守してください。

また、このことにご同意いただける場合のみ、受講をお申し込みください。

- 一、 受講にあたり、静岡大学が行う教育、研究活動、及び事務運営に支障が及ぶことがないようにするとともに、教職員の指示に従う。
- 一、 前項に反し、受講生としてふさわしくない言動及び静岡大学の秩序を乱す行為があった場合は、受講を停止されても甘受する。その場合、納入した講習料の返還を要求しない。
- 一、 静岡大学の施設、設備等を故意又は不注意により破損したときは、その損害を賠償する。

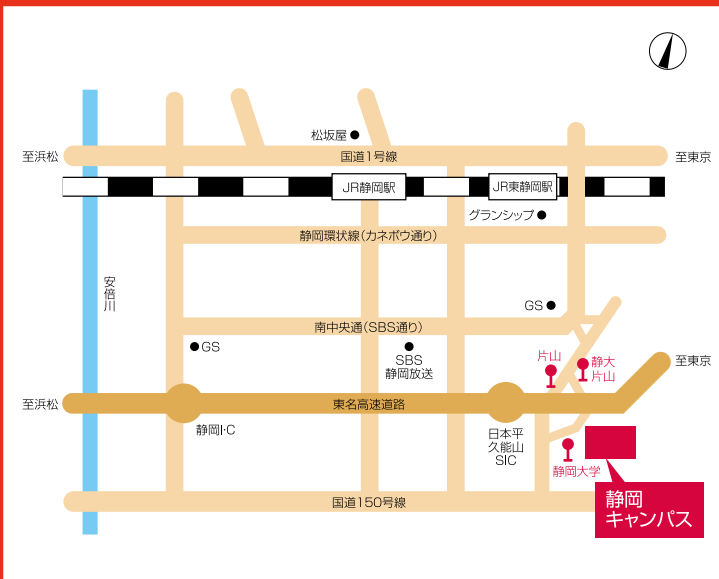
以上

身分証明貼付欄（氏名及び現住所が確認できるものであること）



■静岡キャンパス

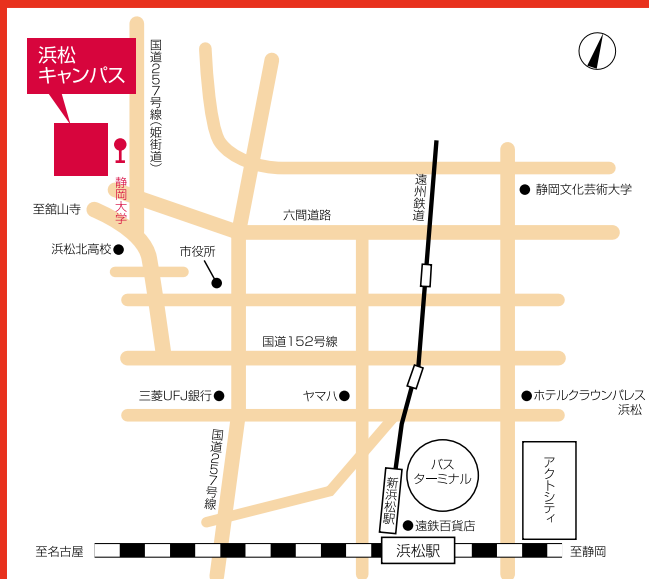
人文社会科学部・教育学部・理学部・農学部・グローバル共創科学部・地域創造学環
〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836



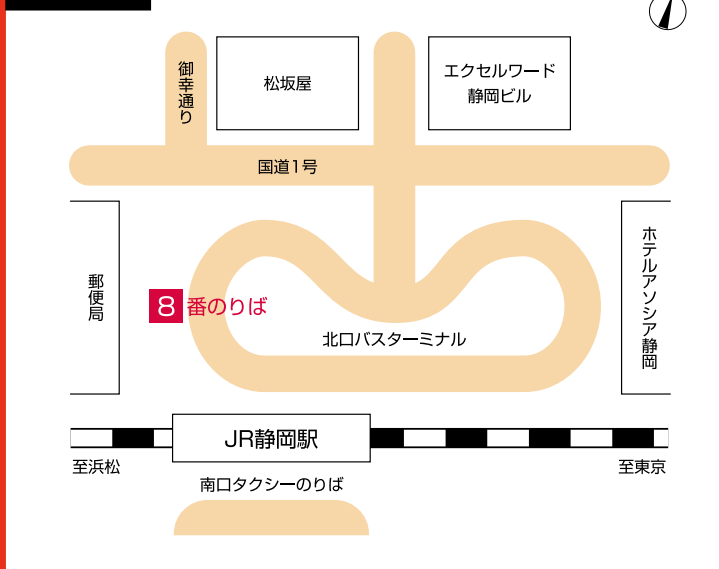
■浜松キャンパス

情報学部・工学部

〒432-8011 静岡県浜松市中央区城北 3-5-1

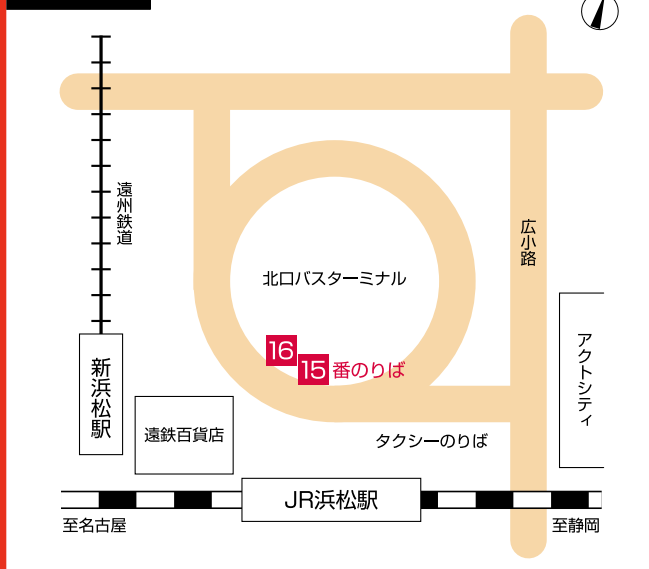


バス停案内図



1. JR静岡駅北口しずつジャストラインバス8番乗り場から、「静岡大学」または「東大谷」、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行きに乗車し、「静岡大学」または「静大片山」バス停下車(所要時間約25分、1時間に5〜7本運行)。※静岡駅午後発の「東大谷」行きバスは「静岡大学」バス停を経由しないため、「片山」バス停で降りてください。「片山」と「静大片山」バス停は位置が異なりますのでご注意ください。
2. JR静岡駅からタクシーで約15分。

バス停案内図



1. JR浜松駅北口バスターミナルより、遠州鉄道バス15番または16番乗り場から乗車し(全路線)、「静岡大学」バス停下車(所要時間約20分、1時間に10本程度運行)。
2. JR浜松駅からタクシーで約10分。



静岡大学地域創造教育センター
Education Center for Regional Development

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL: 054-238-4817 [平日9:30~12:30、13:30~16:00(10/1~10/15のみ 9:30~12:30、13:30~16:30)]

E-mail: kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp <https://www.Lc.shizuoka.ac.jp/>